

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

<20週> 伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎 - 定点当たり報告数は、いずれも前週に比べて増加している / その他最新動向

<4月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.7

<麻疹> 2002年第1週からの麻疹の累積患者報告数は6,945人 (成人麻疹患者数は、累積で189人)



病原体情報
P.8

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / 咽頭結膜熱 / 感染性胃腸炎 / インフルエンザ



速報
P.9

A群コクサッキーウイルス16型による手足口病の流行 - 高知県



海外感染症情報
P.10

アフガニスタンでのリーシュマニア症 / アフガニスタンで軍関係者に発生した疾病



感染症の話
P.11-14

マラリア

マラリアは世界で100カ国以上にみられ、世界保健機関WHOの推計によると年間3～5億人の罹患者と150～270万人の死亡者とされる。



読者のコーナー
P.15



グラフ総覧(20週)
P.16-22



グラフ総覧(4月)
P.23-27



4月のデータ
P.28-31



20週のデータ
P.32-39



発生動向総覧

第20週コメント 5月23日集計分

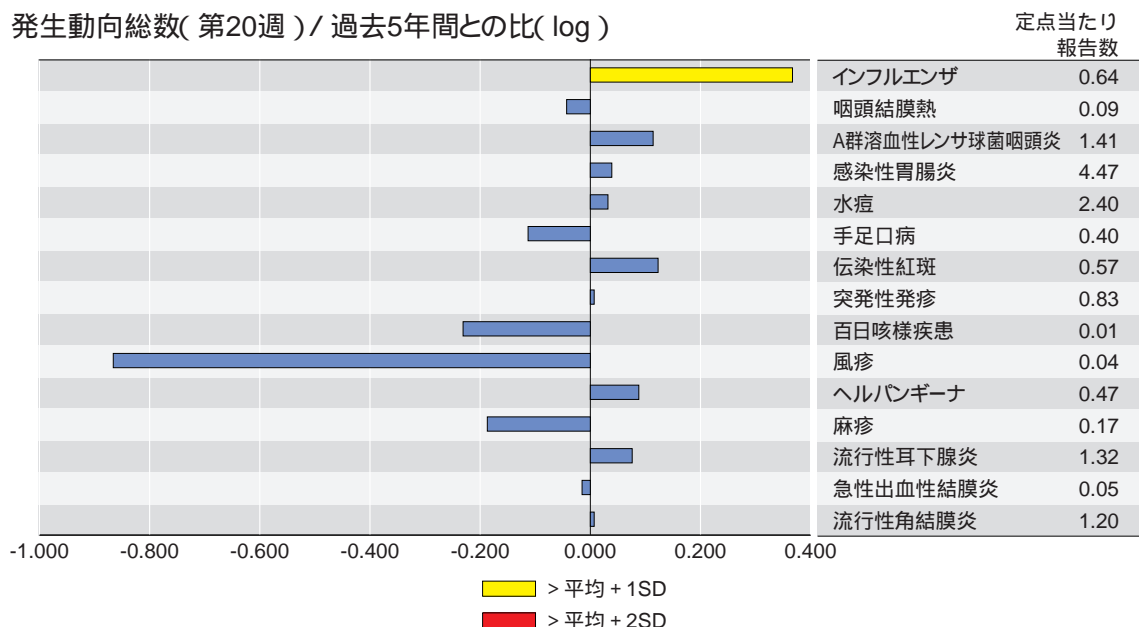
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢12例(推定感染地: 国内1例、インド4例、タイ、ネパール、中国、カンボジア、ペルー、インド・タイ各1例、不明1例)
腸チフス2例(推定感染地: 国内1例、インド1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症83例(うち有症者45例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢5例(推定感染地: 国内4例、不明1例)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症3例、ツツガムシ病7例
破傷風2例、レジオネラ症1例
急性ウイルス性肝炎10例 A型4例
 B型4例(感染経路: 全て不明)
 C型1例
 サイトメガロウイルス1例
- クロイツフェルト・ヤコブ病4例(すべて孤発性)
- 後天性免疫不全症候群6例(無症候性3例、AIDS 2例、その他1例)
 感染経路: 性的接触4例(異性間2例、同性間2例)、不明2例
- デング熱1例、梅毒8例(早期顕症3例、無症候5例)
- マラリア1例(三日熱マラリア_推定感染地: フィリピン)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザは治まってきているが、全国レベルでの定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多くなっており、都道府県別では青森県(5.8)、岩手県(5.6)、宮城県(4.2)、秋田県(4.1)など東北地方からの報告が多い。他の疾患の全国レベルでの定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べて特別多くなってはいないが、都道府県別では、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が富山県(3.8)、山形県(2.7)、北海道(2.6)など、感染性胃腸炎が鳥取県(11.2)、宮崎県(7.3)、宮城県(7.1)など、手足口病が高知県(5.6)、ヘルパンギーナが佐賀県(3.9)、宮崎県(3.6)など、流行性耳下腺炎が宮崎県(4.8)、山形県(4.4)、富山県(3.8)など、流行性角結膜炎が群馬県(5.2)、茨城県(3.7)などから報告が多くなっている。

発生動向総数(第20週) / 過去5年間との比(log)

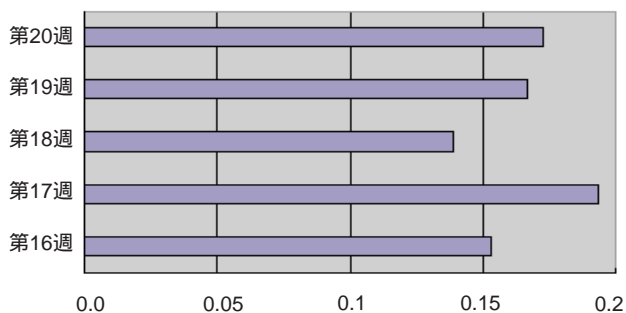


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

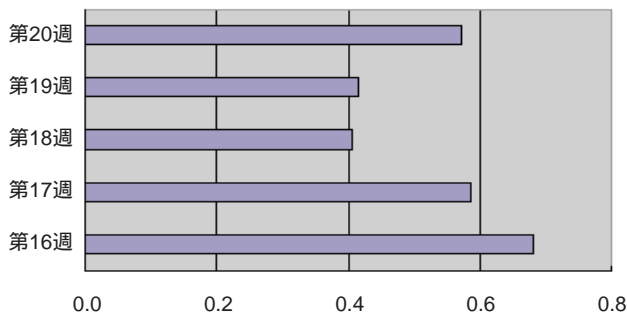
最近の注目疾患－5週間の動き

伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、いずれも前週に比べて増加している。麻疹の定点当たり報告数は殆んど不変である。水痘の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

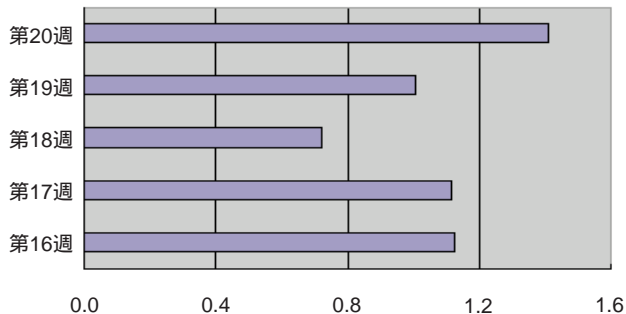
麻疹



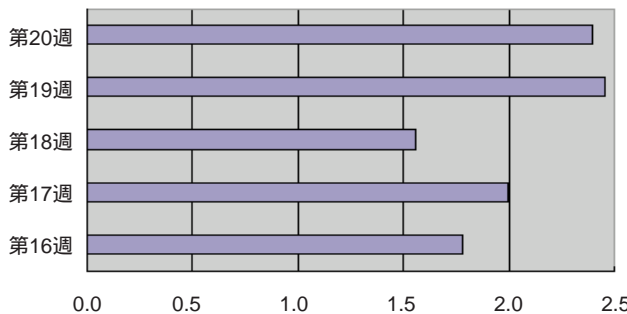
伝染性紅斑



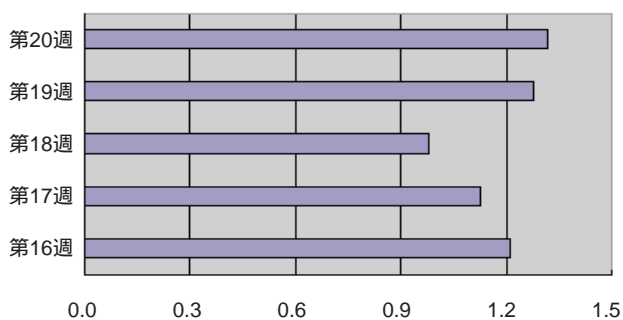
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

4月コメント

性感染症について(5月15日集計分)

2002年4月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.76(男1.52、女2.24)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.86(男0.37、女0.49)、尖形コンジロームが0.49(男0.24、女0.25)、淋菌感染症が1.76(男1.42、女0.35)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。前月に比べ、女性における性器クラミジア感染症の報告者数が増加し、他の疾病は横ばいである(23～26ページ「グラフ総覧」参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると(図1)、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では30～34歳にも多く、他の3疾病に比べ50代以降の高年齢層からの報告も少なくない。

男女比は、性器クラミジア感染症で1:1.47、性器ヘルペスウイルス感染症で1:1.34、尖形コンジロームで1:1.03、淋菌感染症で1:0.25で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。いずれの疾病でも、若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(4月の性感染症定点総数は906)

感染症法が施行された1999年4月以降、各性感染症の月別定点当たり報告数の男女比の変化を図2に示した。いずれの疾病においても増加傾向が認められる、即ち、徐々に女性の占める割合が高くなってきている。

なお、23～26ページ「グラフ総覧」で示した各性感染症の月別定点当たり報告数において1999年3月と4月の間に生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

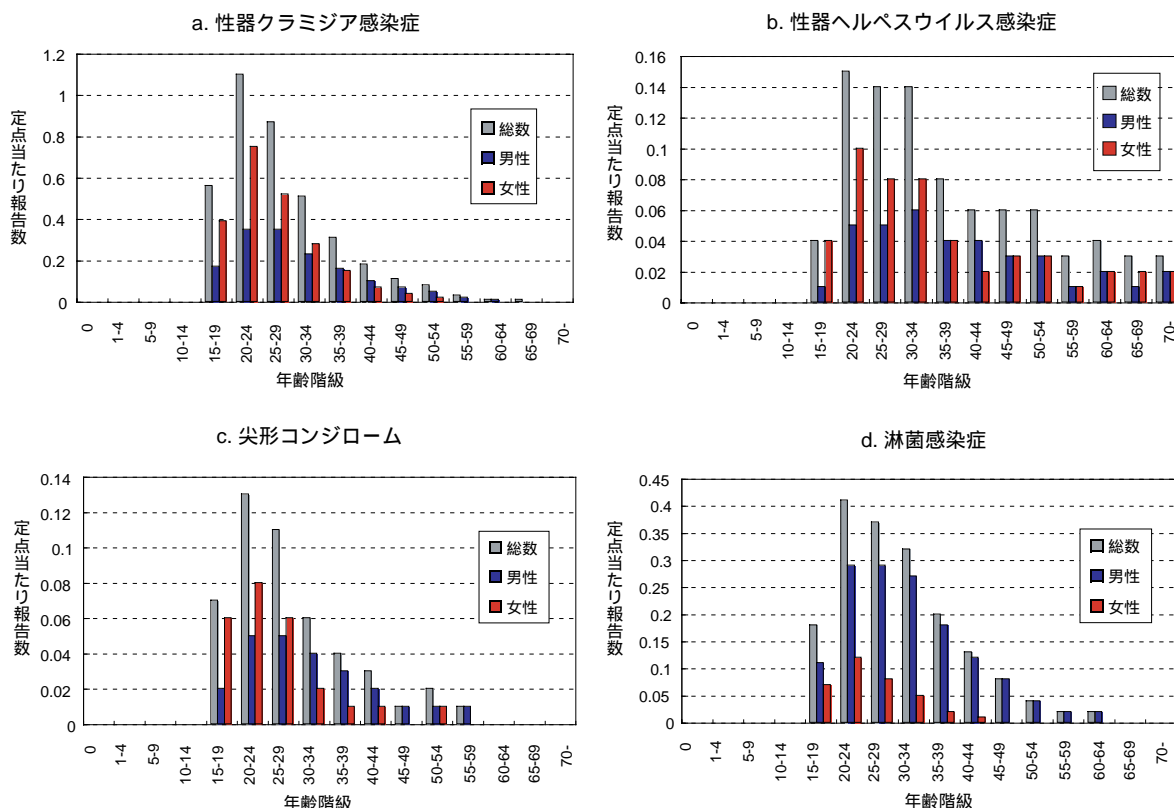
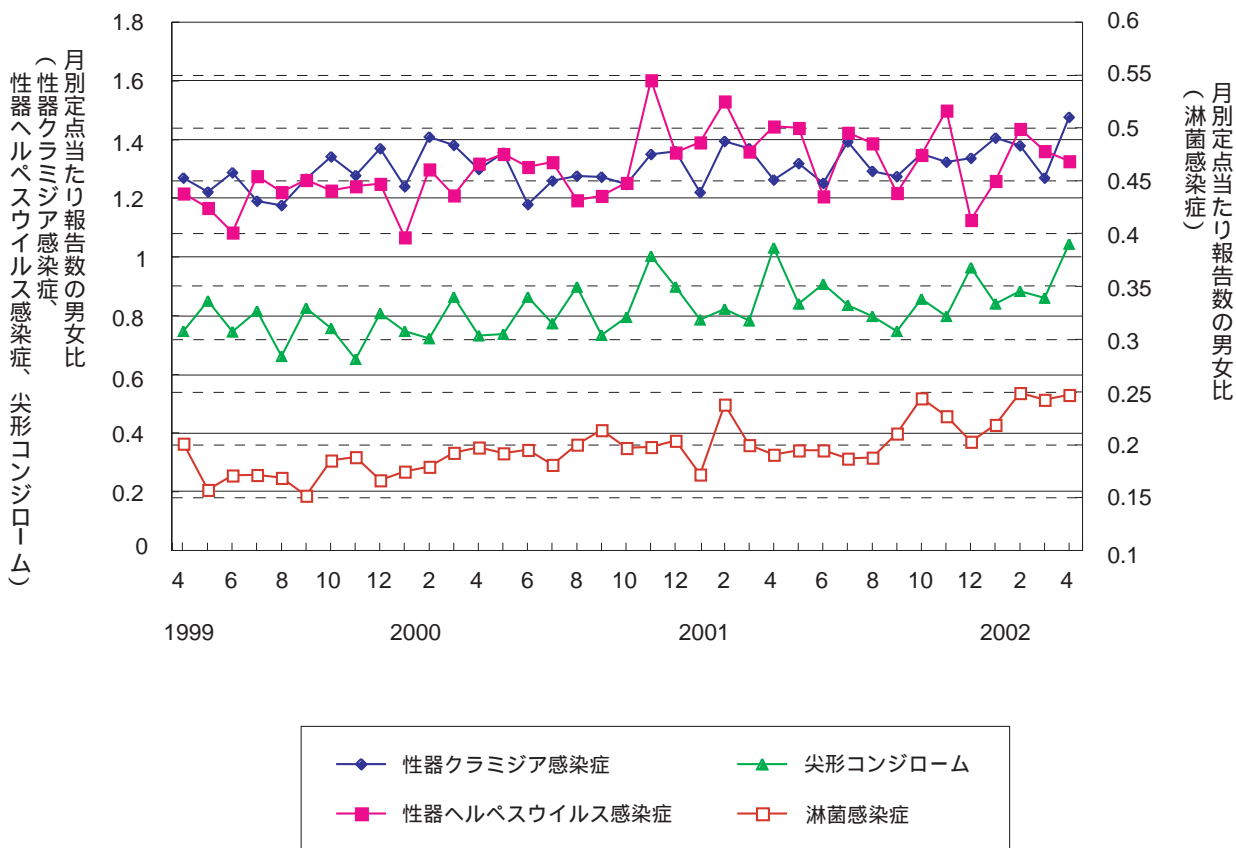


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

図2. 感染症発生動向調査における性感染症の報告数の男女比



薬剤耐性菌感染症について(5月15日集計分)

【注】)内の+、-、=は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

4月の基幹定点総数: 457 .

4月の定点当たり報告数:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.48(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.19(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.14(+)

年齢階級別: MRSA感染症 ……0歳と高齢者に多く、65歳以上が全体の66%を占める。

PRSP感染症 ……1～4歳が最も多く、全体の41%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 ……高齢者に多く見られ、65歳以上が全体の65%を占める。

結核サーベイランス月報(5月24日集計分)

4月の新登録患者数は2,795人、活動性肺結核患者は2,219人(うち喀痰塗抹陽性患者は1,024人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は598人、非定型抗酸菌陽性者数は229人であった。

*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

麻疹

麻疹は例年年明けから春にかけて報告が増加し、5月頃流行のピークを迎える。昨年は1992、1993年以来の大きな流行となり、成人麻疹患者の増加も認められた。2002年の第20週までの発生状況に関しては、全国レベルでの定点当たり報告数は例年に比べ低くなっている(19ページグラフ参照)。第20週現在、定点当たり報告数が多くなっているのは、青森県(1.1)、愛知県(0.7)、千葉県(0.5)、岐阜県(0.5)、鳥取県(0.4)、山梨県(0.4)などである。本年第1週からの累積患者報告数は6,945人であるが、その年齢階級別内訳を円グラフに示す。全国約500の基幹病院定点から報告される成人麻疹患者数は、累積で189人となっている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」は、青森県、愛知県内の各5保健所、千葉県内の3保健所など全国計19保健所で発生しており、今後4週間以内に警報が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の6保健所、東京都内の4保健所、群馬県、兵庫県内の各3保健所など、全国計38保健所に発生している。

1歳を過ぎた麻疹ワクチン未接種かつ麻疹未罹患者には、ワクチンを早急に接種することが推奨される。

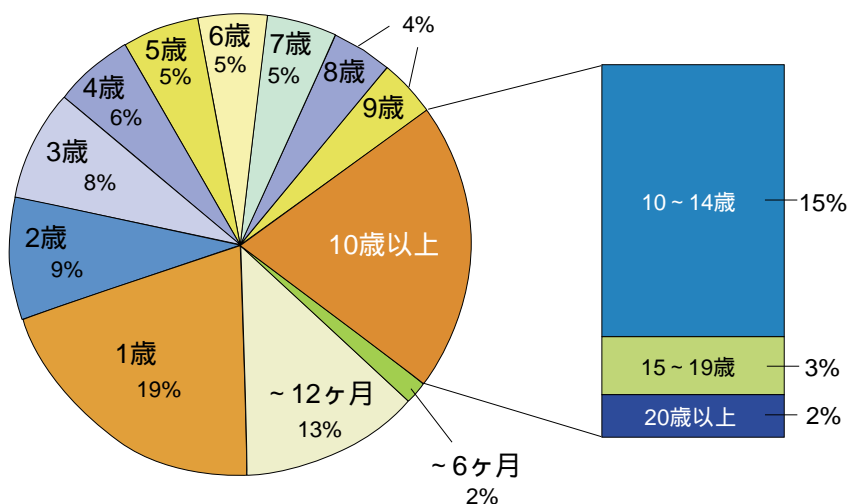
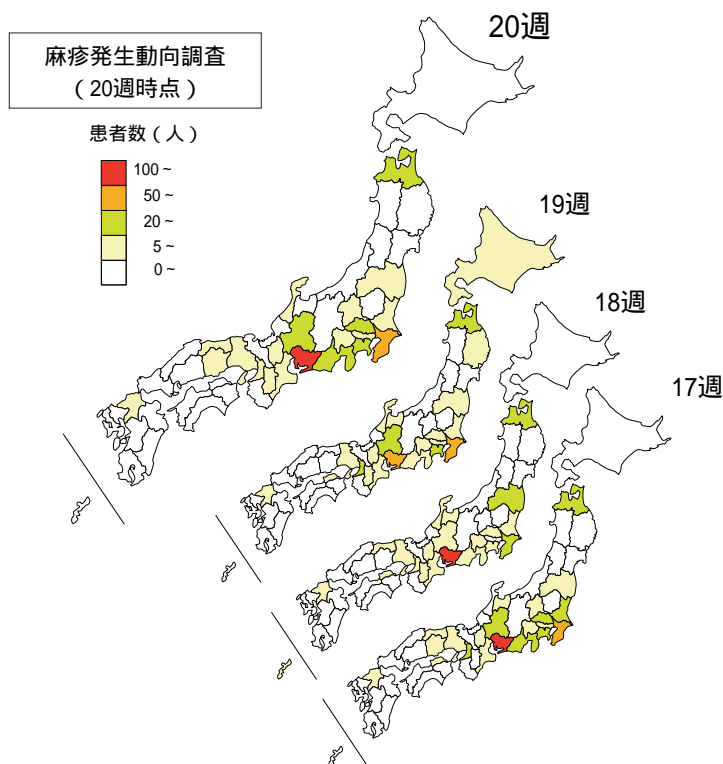


図. 累積麻疹患者年齢階級別グラフ (2002年第1～20週)



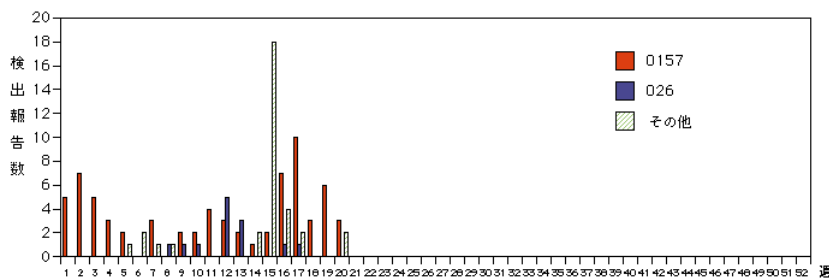
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年5月24日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2002年

Vero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が70件、O26が13件、その他の血清型33件(うち23件は佐賀県の保育園におけるO121の集団発生)である。最近では、O157が第19週と20週に佐賀県から9件報告されているが、うち8件は家族内感染によるものである。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2002年 (病原微生物検出情報: 2002年5月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



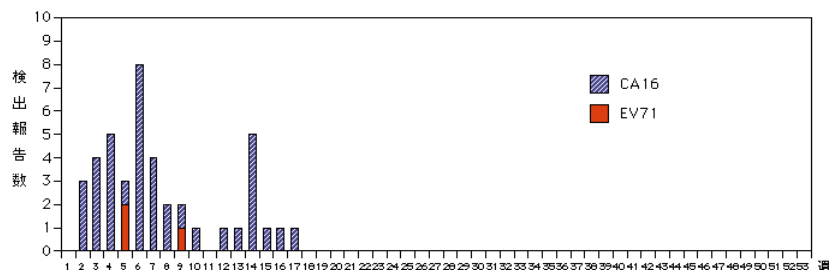
Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス 2002年

コクサッキーウイルスA16型(CA16)37件(福島県11、島根県11、高知県9など)、エンテロウイルス71型(EV71)3件(埼玉県2、高知県1)の分離が報告されている。

週別エンテロウイルス71型&コクサッキーA16型分離報告数、2002年

(病原微生物検出情報: 2002年5月24日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2002年

アデノウイルス3型10件(長野県5、川崎市2、愛媛県2など)、2型9件(島根県3、長野県2など)、1型3件(仙台市、新潟県、奈良県)、6型1件(北九州市)の分離が報告されている。

感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが496件、NLV genogroup Iが27件、NLV genogroup unknownが135件、サッポロ様ウイルス(SLV)が30件で、その他に電顕による検出が78件報告された。また、A群ロタウイルス363件、群不明ロタウイルス36件の検出が報告されている。

インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連型(H1)が2,902件、A/香港型(H3)が2,553件、B型が1,089件である。最近では、第19週にB型が6件(熊本県4、秋田県1、福岡市1)、第20週にA/香港型が大阪市から1件報告されている。



A群コクサッキーウイルス16型による手足口病の流行 - 高知県

高知県において2002年3月ころから、感染症発生動向調査定点からの手足口病の報告が増加し、当初は一部の地域からの報告であったが、徐々に拡大がみられ、5月現在では県下全域(特に県中央部の高幡、中央西、高知市では警報基準値定点当たり5.0を超している)における大きな流行となっており、地方感染症情報センターが注意喚起の広報を行った。

2002年2～4月に検査定点から搬入された手足口病の検体は、2月1件、3月2件、4月9件の計12件で、いずれも材料は咽頭ぬぐい液であった。うち9件からA群コクサッキーウイルス16型(CA16)を、1件からエンテロウイルス71型(EV71)を検出した。EV71は2月の材料からの検出で、Vero、RD-18S細胞で感受性を示した。CA16の9件はいずれも3月以降の材料からの検出で、Vero、LLC-MK2細胞および哺乳マウスで感受性を示した。ウイルスの同定は、国立感染症研究所および愛媛県立衛生環境研究所より分与された抗血清を用いて行った。

ウイルスを検出していない患者2名を含めた12名の症状は、発疹が12名、発熱9名(37.3～40.0)であり、比較的軽症と考えられた。年齢は0歳2名、1歳3名、2歳6名、3歳1名であった。性別は、1歳の女兒1名の他はすべて男児であった。

手足口病は従来夏季に流行する疾患であり、本県においても流行のあった年は6～7月に流行曲線のピークがみられており、今回の流行は発生時期が2～3カ月早く、従来とは違った様相を呈している。5月に入ってから15日までに、手足口病の検体3件と手足口病と無菌性髄膜炎を疑う検体2件が搬入されており、今後、従来とのピークの時期を迎え、夏場にかけての流行の拡大が懸念される。今後の動向を監視していきたい。

高知県衛生研究所

千屋誠造 永安聖二 刈谷陽子 宮地洋雄 小松照子 山脇忠幸 上岡英和

(IASR2002年6月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アフガニスタンでのリーシュマニア症

WHO/CSR 2002年5月22日

最近WHOはアフガニスタン保健省、ヘルスネットインターナショナル(HNI)やTODAIなどの非政府援助組織(NGO)と協力して、カブールでの皮膚リーシュマニア症とみられる流行の状況の評価を行った。カブールの状況は特に深刻で、皮膚リーシュマニア症が20万名発生していると推計されている。

皮膚リーシュマニア症は致死的な疾患ではないが、大きな社会的な負担となっている。進行中の紛争による国内および国境を越えての人々の移動の結果、今後皮膚リーシュマニア症の発生率の増加が予想される。皮膚リーシュマニア症はここ数年間アフガニスタンでは風土病として存在し、北部州では主に動物を介した伝播(人獣共通感染症)が中心で、大都市では節足動物を介して直接ヒトからヒトへ伝播する。

少なくともカブールで2003年の終わりにまでに状況を改善するために、WHOと他の協力組織により、緊急の活動計画が行われている。優先的に行っているのは、殺虫剤浸漬蚊帳の用意、第一選択薬での早期の治療、介入チームの補充と訓練および衛生教育などである。

WHOはすでに35,000名分の治療薬剤を供給した。WHOはまた、HNIと協力してサシチョウバ工を防ぐために殺虫剤浸漬蚊帳を提供した。

アフガニスタンで軍関係者に発生した疾病

Eurosurveillance weekly 2002年5月23日

5月13日から19日にかけて、アフガニスタンのBagramに駐留中の英国軍関係者に嘔吐、下痢、発熱を呈した患者29名の発生がCommunicable Disease Reportに報告された。潜伏期は短く、野戦病院のスタッフが主に感染した。患者3名が循環虚脱に陥り、重症と診断された。Bagramでは医療事情が悪いため、患者10名がNational Health Service病院で治療を受けるため英国へ送還された。もう一人の患者は、ドイツにある米軍病院で治療を受けるため搬送された。患者全員が回復し、退院した。Bagramでは新たな患者発生の報告はなく、野戦病院は再開され、感染制御策が強化されている。

3名の二次感染患者が発生した。2名は英国に送還された最初の患者の介護を担当した航空医務隊の医療スタッフであった。最初の患者の入院中、患者との密接な接触が感染の原因となった。2名は入院したが、回復し、退院した。他に感染が疑われる2名のスタッフがいたが、診断は確認されなかった。他の医療関係者や住民の接触者からは患者は発生しなかった。

Bagram野戦病院の検査室で行った基本的な細菌学的検査はいずれも陰性であった。ロンドンにある中央公衆衛生研究所(Central Public Health Laboratory)で患者検体の検査が行われたが、Norwalk様ウイルス(NLV)が確認された。胃腸炎の原因ウイルスを確認するためには、3種類の検査法が用いられた。便検体の電子顕微鏡検査では、ウイルスの形状が小型球形であることが示された。ELISA法では、NLVのキャプシドタンパクに対するモノクローナル抗体が陽性に反応した。5人の患者検体に関するRT-PCR検査では、NLV RNAが検出された。ポリメラーゼ遺伝子の部分的な遺伝子配列解析の結果、問題のウイルスは、英国内の環境中から以前検出されていたgenogroup IIIに関連したものであると示された。今回の病因はNLVであったと結論された。



感染症の話

マラリア

マラリアのなかの熱帯熱マラリアは迅速かつ適切な対処をしないと、短期間で重症化あるいは死亡に至る危険がある(重症マラリア)。マラリアは亜熱帯・熱帯地域の住民における morbidity (病気になることにより、個人レベル・集団レベルで様々な影響を蒙ること)および mortality として重要度の高い疾患である。一方、非流行地からの旅行者のマラリアに関しては、流行地住民のマラリアとは異なる視点でのアプローチも必要である。

疫学

マラリアは世界で100カ国以上にみられ、世界保健機関(WHO)の推計によると年間3～5億人の罹患者と150～270万人の死亡者があるとされる。この大部分はサハラ以南アフリカにおける5歳未満の小児である。サハラ以南アフリカ以外にも、アジア特に東南アジアや南アジア、パプアニューギニアやソロモンなどのオセアニア、中南米などにおいても多くの発生が見られる。旅行者が帰国してから発症する例も年間3万人程度あるとされ、なかには熱帯熱マラリアで診断や治療の開始が遅れて死亡する例もあり、問題となっている。

国内でも、第二次大戦後特に引き揚げ者の持ち込みにより三日熱マラリアの発生があり、1947年には約12,000例の報告がみられたが、その後は報告数が急激に減少し、国内での伝播は見られなくなった。その後の問題として浮かび上がったのが輸入マラリアである。1999年4月施行の「感染症法」以前の伝染病予防法での届出によると、1990年代には年間50～80人で推移していたが、一方、「輸入熱帯病・寄生虫症に対するオーファンドラッグの臨床評価に関する研究」班は独自のアンケート調査にて、1990年代の発生数として年間100～125例を把握していた。「感染症法」の施行以後、報告数は増加し、1999年4～12月には120例、2000年1～12月には152例に達した。2001年1～12月は105例(2002年5月21日現在報告数)に減少したが、これは米国での同時多発テロ以降海外旅行者が減少したことによると考えられる。

病原体

病原体は *Plasmodium* 属の原虫であるが、ヒトに疾患を起こすのは熱帯熱マラリア原虫(*P. falciparum*)、三日熱マラリア原虫(*P. vivax*)、卵形マラリア原虫(*P. ovale*)、四日熱マラリア原虫(*P. malariae*)の4種類である。

マラリア原虫は、媒介動物であるハマダラカ(*Anopheles*)の唾液腺にスポロゾイトとして集まる。メスのハマダラカは産卵のために吸血を行うが、その際に唾液を注入するので、その中のスポロゾイトが体内に侵入する。血中に入ったスポロゾイトは45分程度で肝細胞内に取り込まれて分裂を開始し、一つの肝細胞での分裂小体(メロゾイト)が数千個になった段階で肝細胞を破壊して血中に遊離される。メロゾイトは赤血球に侵入し、輪状体(早期栄養体)、栄養体(後期栄養体、あるいはアメーバ体)、分裂体の経過をたどり、8個～32個に分裂した段階で赤血球膜を破壊して遊離し、メロゾイトは新たな赤血球に侵入して上記のサイクルを繰り返す。これが無性生殖のサイクルである。三日熱マラリア原虫と卵形マラリア原虫の場合には、肝細胞内で直ちに分裂を開始することなくしばらく潜んでしまう休眠原虫も形成され、これが後になって分裂を開始して血中に放出されると再発を生ずることになる。

無性生殖を繰り返しているうちに、一部の原虫は雌雄の区別がある生殖母体(有性原虫)へと分化する。これは人体内では合体受精をしないが、ハマダラカに吸われるとその中腸内で合体受精して最終的にオシストとなり、その中に多数のスポロゾイトが形成され、それらが唾液腺に集積する。

臨床症状

流行地で生まれ育ち、何度もマラリアに罹患して多少の免疫を得ている者(semi-immune)では発熱などの症状が軽度かみられないこともあるが、我々流行地に住んでいない者では免疫が得られず(non-immune) 発熱は必発であると言ってよい。発熱には殆ど悪寒を伴うが、戦慄は必ずしもみられるものではなく、特に熱帯熱マラリアではみられないこともある。発熱にともない、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛などがみられることも多い。時には発熱以外に腹部症状すなわち悪心・嘔吐、下痢、腹痛や、呼吸器症状すなわち乾性咳嗽がみられることもある。

一般検査所見では血小板減少、LDH上昇、総コレステロール(特にHDL-コレステロール)低下、血清アルブミン低下などが高頻度に見られる。貧血は長期化するとみられるが、病初期にはみられないことも多い。

熱帯熱マラリアで重症化すると脳症、腎症、肺水腫/ARDS(図1)、DIC様出血傾向(図2)、重症貧血、代謝性アシドーシス、低血糖、黒水熱(図3)などの種々の合併症を生じる。これらの症状については、WHOの重症マラリア治療のガイドラインに詳しい(Trans. R. Soc. Trop. Med. Hyg., 94(Supple. 1), 2000)。低血糖は脳症に合併することが多く、脳症の意識障害とみなされて見逃されがちなので注意する必要がある。

病原診断

血液塗抹標本をギムザ染色し、光学顕微鏡で検査する方法(顕微鏡法)がgold standardである。塗抹標本には厚層塗抹と薄層塗抹があり、前者の場合には蒸留水で溶血させてからメタノール固定、ギムザ染色を行う。理論上は厚層塗抹の方が多くの血液量を検査できるので診断感度が高いと言えるが、実際上は原虫の形態の判読が容易でないことがあり、通常は薄層塗抹標本をじっくり観察することが推奨される。陰性の判定をどの段階でするかが問題となるが、薄層塗抹標本で視野を動かしながら白血球もカウントしていき、通常の白血球数の検体であれば白血球300～400

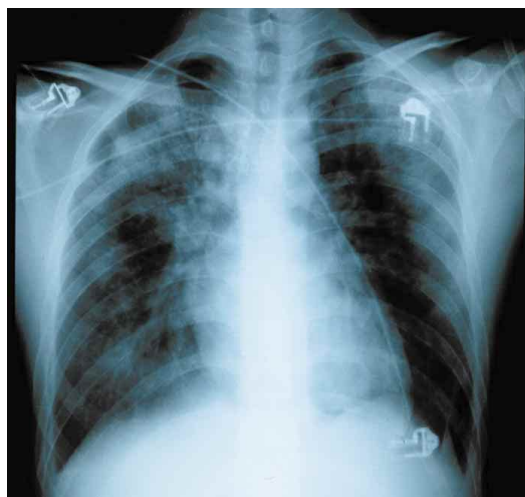


図1. 重症マラリア症例における肺水腫/ARDSの胸部レ線像
両肺野全体に異常陰影があるが、特に右肺野に顕著である。



図2. 重症マラリア症例における出血傾向
左上肢に広範な出血斑がみられる。



図3. 重症マラリア症例における高度の血色素尿、すなわち黒水熱

個程度の視野を観察して原虫が全く認められない場合、一応陰性と判定する。原虫が認められた場合には原虫種の判定を行うが、成書に記載されている鑑別点を参考にする。熱帯熱マalaria原虫とそれ以外のマalaria原虫との区別は必須である。

熱帯熱マalariaでは通常輪状体のみで、数が少ないときなど見逃しやすい。したがって、他の検査手段、抗原検出法やPCR法などを併用することが望ましい。理論上は顕微鏡法が検出感度をもっとも優れているはずである。なぜならば、一定量の血液中に原虫が一個でもあれば、その血液を丹念に全部見れば検出できるはずであるから。ところが実際は、顕微鏡法で見られる血液量は非常にわずかであり、他の方法では多い血液量を測定できるので実際上の検出感度が高いということになる。

抗原検出法には大別して2種類あり、一方は熱帯熱マalaria原虫のhistidine-rich protein 2 (HRP2) を主体に検出し、他方はマalaria原虫特異的LDH(pLDH) を検出する。前者のキットとしてはNow ICT Malaria P.f/P.v.(Binax社)があり、後者としてはOptiMAL(Flow社)があるが、両者ともに国内では販売されていない。両者ともに熱帯熱マalaria原虫とそれ以外の3種のマalaria原虫とを区別して検出する。熱帯熱マalaria原虫の検出には、一般にHRP2検出系の方がpLDH検出系よりも優れている。

PCR法としては種々の研究室で種々の方法が開発されているが、岡山大学綿矢および湧永製薬山根らの開発になる方法(PCR-MPH法)は優れている。ある程度の設備と技術が必要ではあるが、4種類のマalaria原虫を区別して感度良く検出でき、顕微鏡法を補うものとして、あるいは顕微鏡法の技術を高めるものとして有用である。

しかし、診断に熟練していない医療機関ではいたずらに診断を試みるのではなく、速やかに専門機関に相談したり、患者の紹介をするべきである。

治療・予防

三日熱マalaria、卵形マalaria、四日熱マalariaでの急性期治療としてはクロロキンが用いられるが、三日熱マalariaではパプアニューギニア、ソロモンなどで軽度のクロロキン耐性も出現していることを念頭におく。クロロキンが入手不可能な場合などではスルファドキシシ/ピリメタミン合剤(ファンシダール®)、メフロキン(メファキン®)などを用いてもよい。三日熱マalariaと卵形マalariaの場合、急性期治療が成功した後、肝臓に潜む休眠原虫を殺滅する根治療法を行うが、これにはプリマキンを用いる。

熱帯熱マalariaではクロロキン耐性が進行しているので、クロロキン以外の薬剤を用いるべきである。スルファドキシシ/ピリメタミン合剤も耐性が進行しつつあり、好ましくない。タイ・カンボジアあるいはタイ・ミャンマーなどの国境地帯の感染でなければ、メフロキンを使うのは一つの選択である。欧米では経口キニーネとドキシサイクリン、あるいはクリンダマイシンとの併用も行われる。アトバコン/プログアニル合剤(Malarone®)も薬剤耐性熱帯熱マalariaに有効である。欧米ではアーテメター/ルメファントリン合剤(Riamet®)が使われ始めており、今のところ評判はよい。

重症マalariaでは非経口的な投与が必要であり、注射用キニーネがもっとも信頼されているが、最近ではアーテメシニン誘導体の注射や坐薬が用いられることがある。

上記においては禁忌、副作用などの記述を省略したが、実際にはそれらの知識が必要である。また、国内で販売されている抗マalaria薬は経口キニーネ、ファンシダール®、メファキン®の3種類のみであり、「熱帯病に対するオーファンドラッグ開発研究」班(筆者が班員)が輸入・保管している薬剤(表1)が必要になることも多い。これらの薬剤と保管機関・担当者は当感染症情報センターホームページに掲載されている(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> より、[旅行医学] [Malaria

表1. 研究班が保管する国内未発売の抗マラリア薬
創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業「熱帯病に対するオーファンドラッグ開発研究」班

商品名	一般名	成分・含量	投与経路	製造	適応
Nivaquine	硫酸クロロキン	クロロキン塩基150mg、 あるいは100mg	経口	Rhône-Poulenc Rorer	マラリア(急性期治療)
Malarone	アトバコン/ 塩酸プログアニル合剤	アトバコン250mg/ 塩酸プログアニル100mg	経口	GlaxoWellcome	マラリア(急性期治療)
Primaquine	リン酸プリマキン	プリマキン塩基15mg	経口	タイ政府製薬所	マラリア(根治療法)
Quinimax	グルコン酸キニーネ他、 計4種のアルカロイド	キニーネ塩基240mg/2ml、 全塩基250mg/2ml	注射	Sanofi-Winthrop	マラリア(急性期治療)
Plasmotrim-200, -50 Lactab	アーテスネート	200mg、あるいは50mg	経口	Mepha	マラリア(急性期治療)
Plasmotrim-200, -50 Rectocaps	アーテスネート	200mg、あるいは50mg	坐剤	Mepha	マラリア(急性期治療)

Web])。この体制により国内でもマラリア治療が十分できるようになっているが、その認識が行き渡っていない部分があるのは残念である。

重症マラリアでは適切な抗マラリア薬治療以外に、合併症の病態に応じた適切な支持療法も重要である。詳細はWHOのガイドライン(Trans. R. Soc. Trop. Med. Hyg., 94(Supple. 1), 2000)の記載にゆずるが、欧米での最近の傾向として交換輸血が積極的に行われ、しかも評価されていることが挙げられる。

予防の3原則は、1)蚊による刺咬を避けること、2)薬物予防(予防的に抗マラリア薬を服用すること)、3)スタンバイ治療(マラリアが疑われるときに自らの判断で抗マラリア薬を服用すること)であるが、1)はマラリア流行地へ行く場合に必ず行うべきことであり、2)と3)は状況を十分に検討して、抗マラリア薬の副作用を上回るメリットがあると判断される場合に行う、いわばオプションと考えるべきものである。これには、個々の状況でのマラリア特に熱帯熱マラリアに罹患する危険性の判断、また、抗マラリア薬の副作用について種々の意見が出されているが、それをどう認識するか、などが大きく影響する。この種の問題は新しい専門分野である「旅行医学」において絶えず議論されており、マラリア予防に携わる医療従事者は旅行医学に関係することが望まれる。

感染症法における取り扱い

マラリアは4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。届出のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

- ・病原体の検出
例、血液塗抹標本による顕微鏡下でのマラリア原虫の証明と、鏡検による虫種の確認など
- ・病原体の遺伝子の検出
例、PCR法など

(国立感染症研究所感染症情報センター 木村幹男)



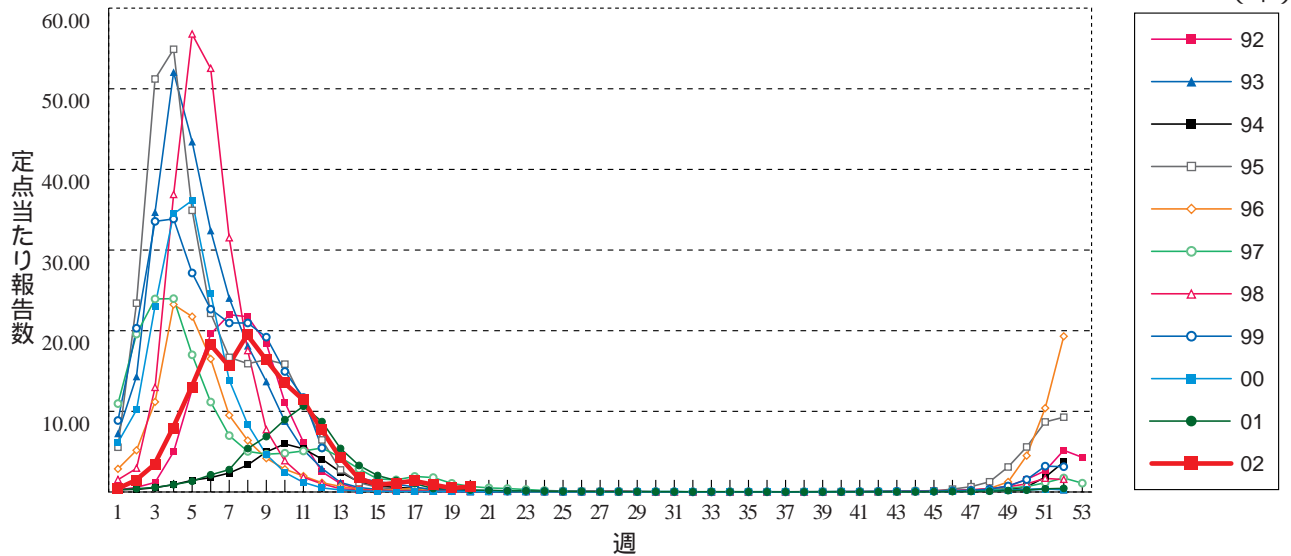
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

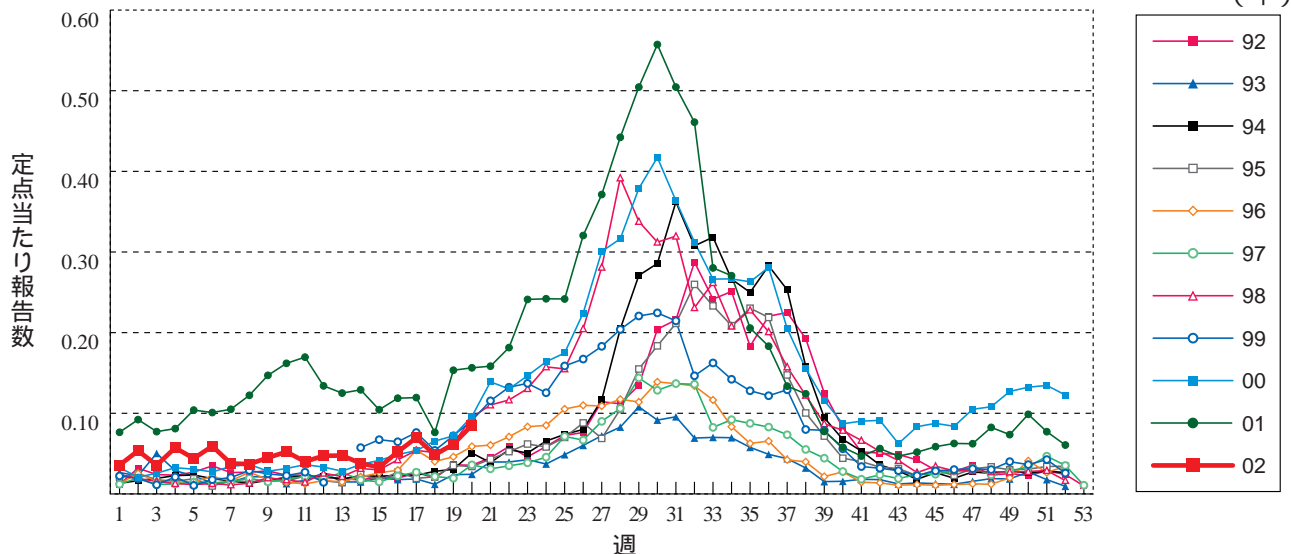
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(20週)

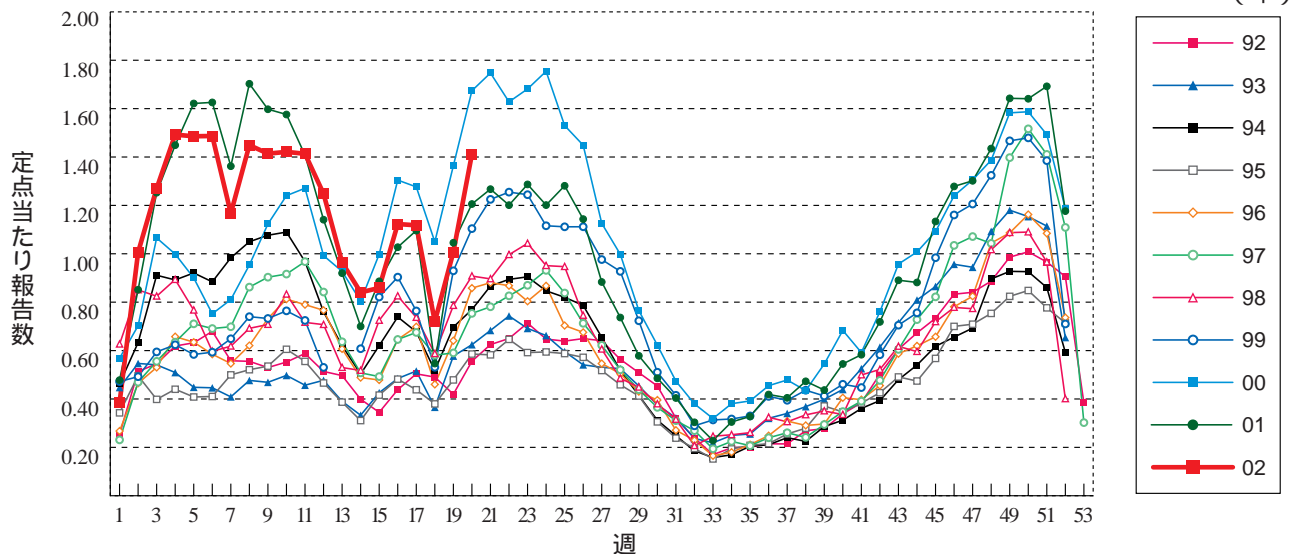
インフルエンザ



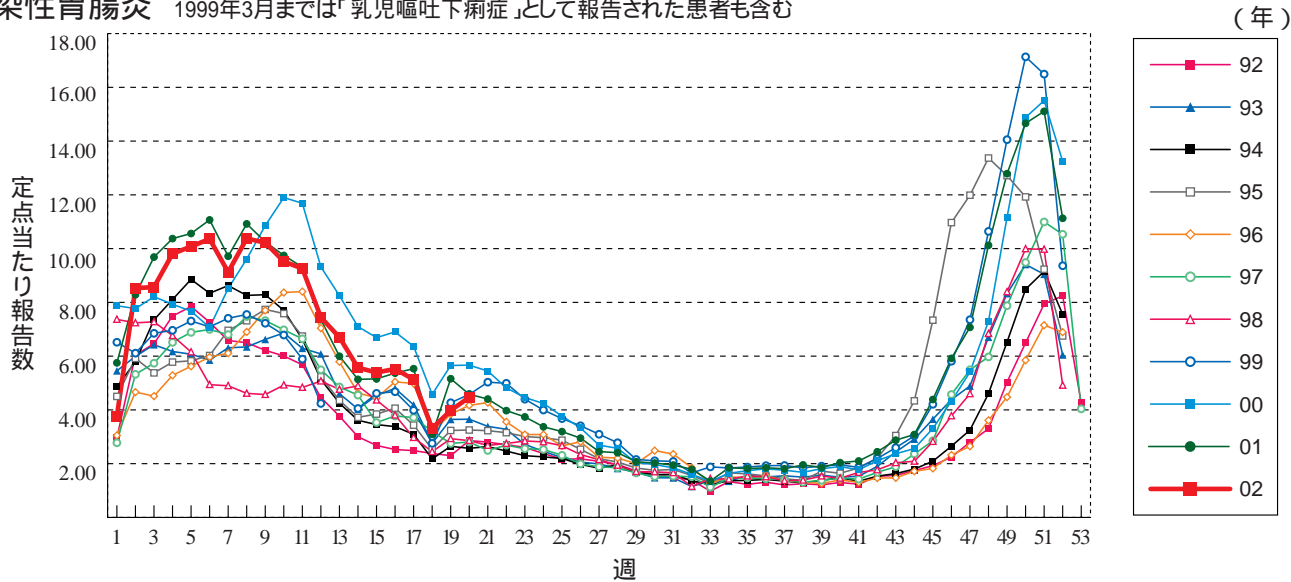
咽頭結膜熱



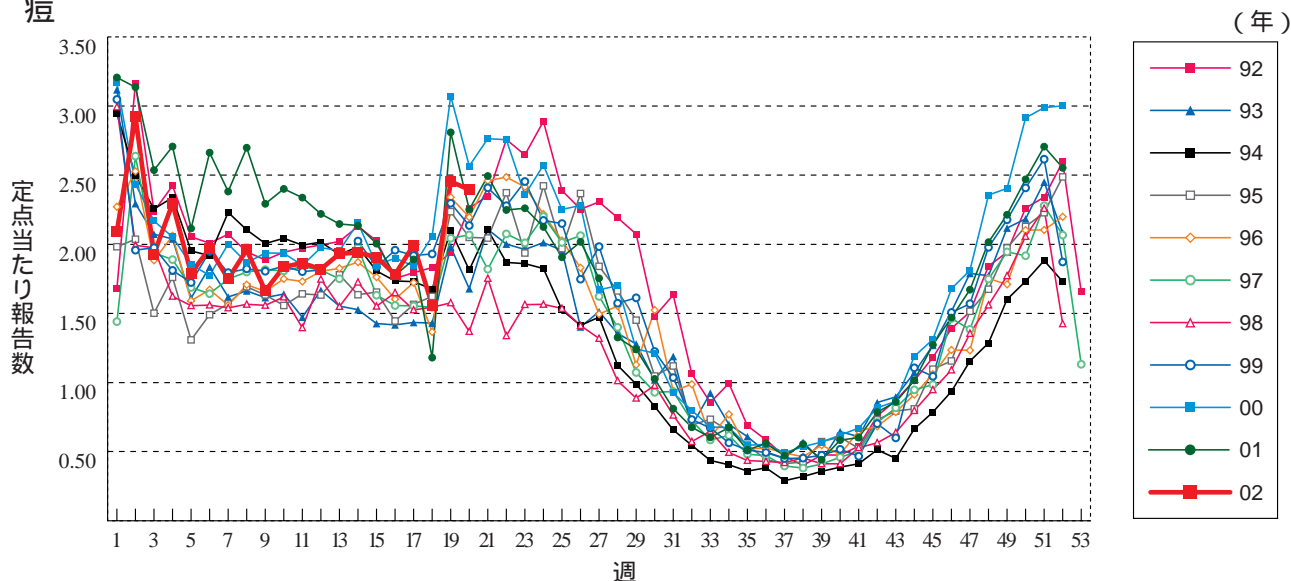
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



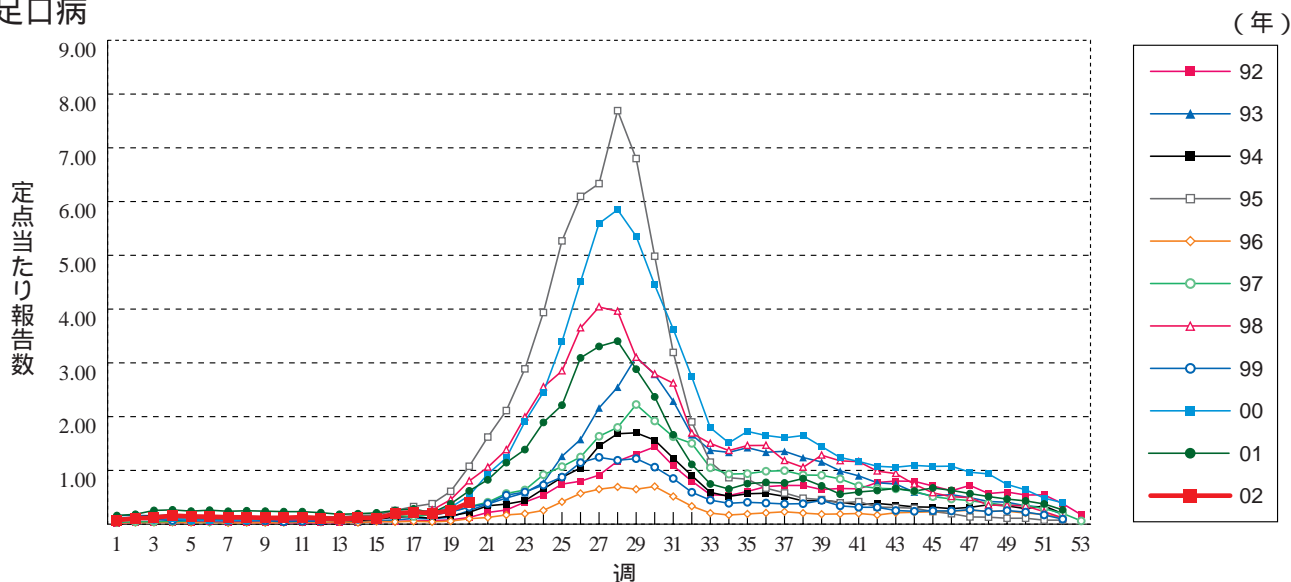
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



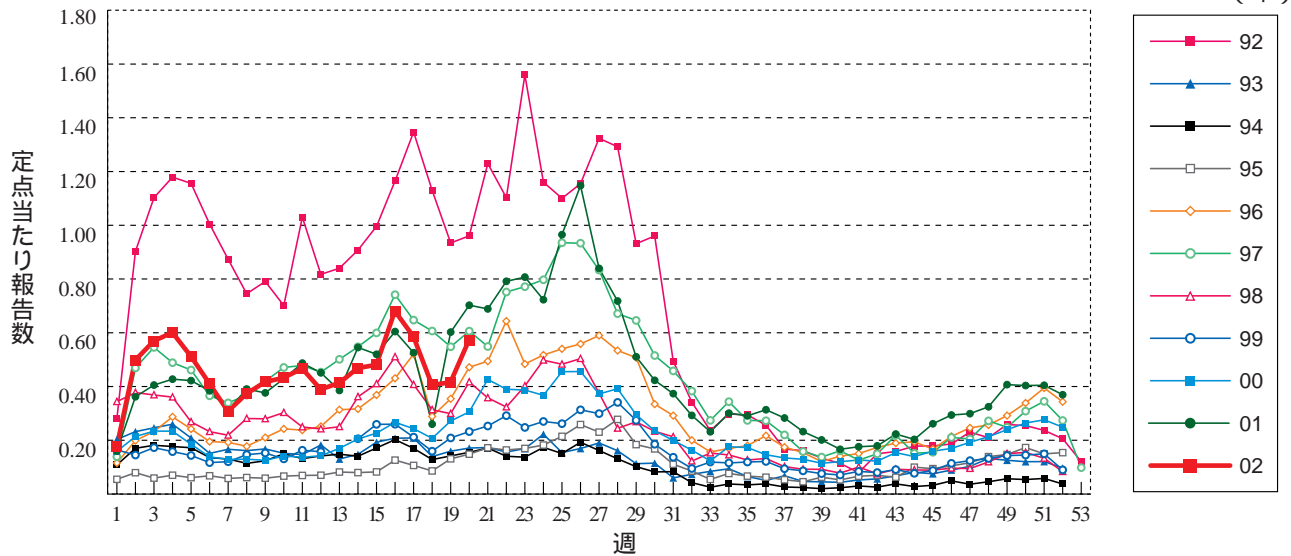
水痘



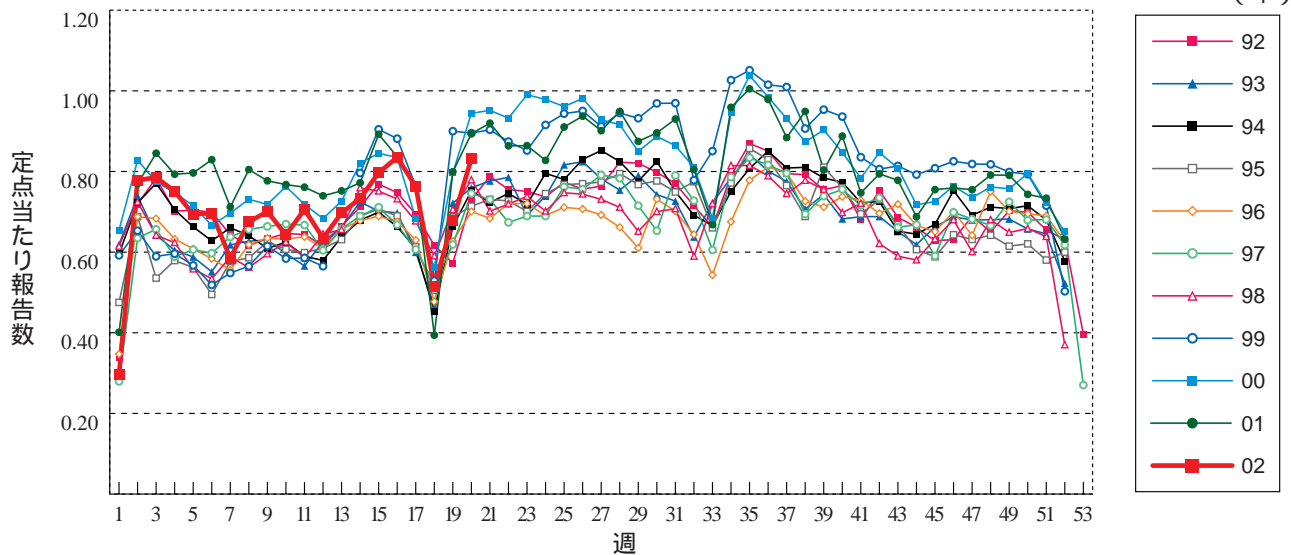
手足口病



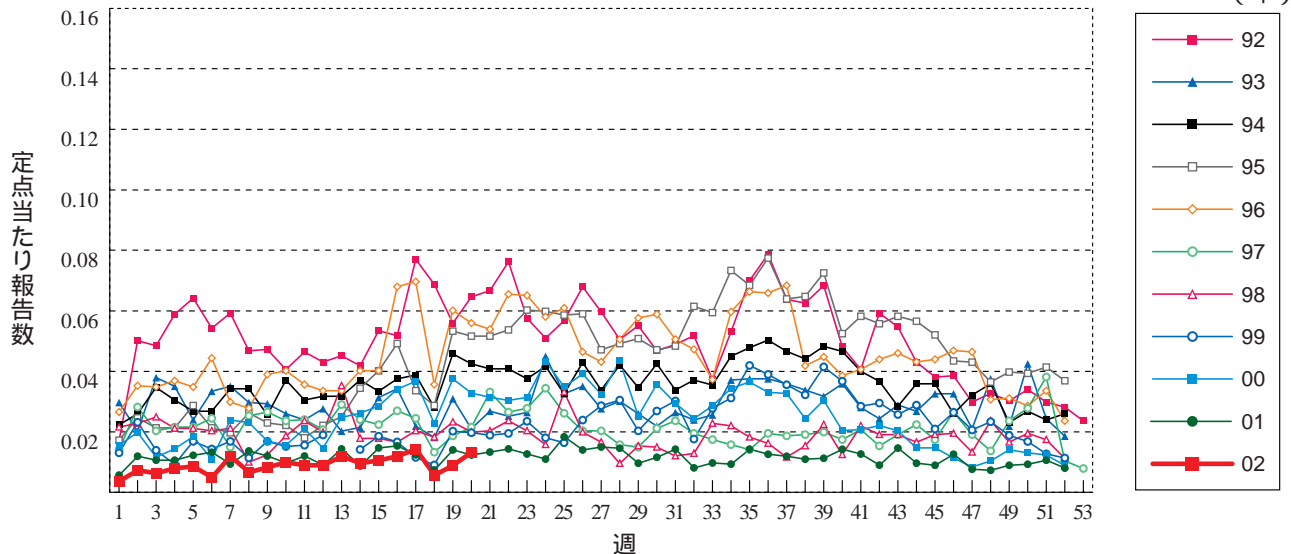
伝染性紅斑



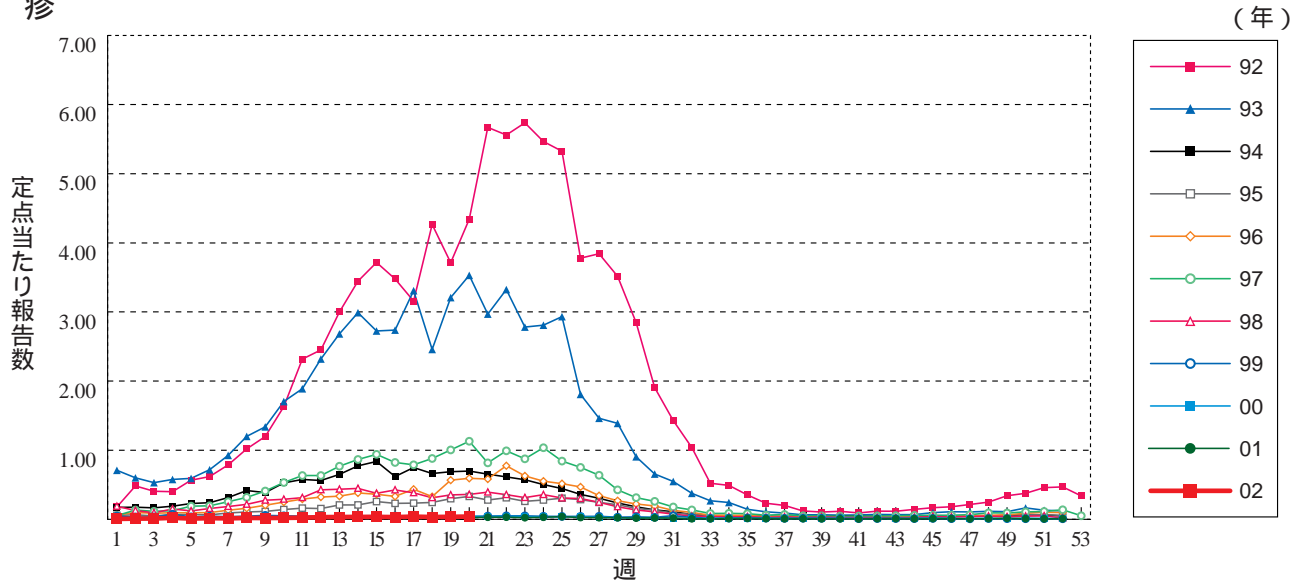
突発性発疹



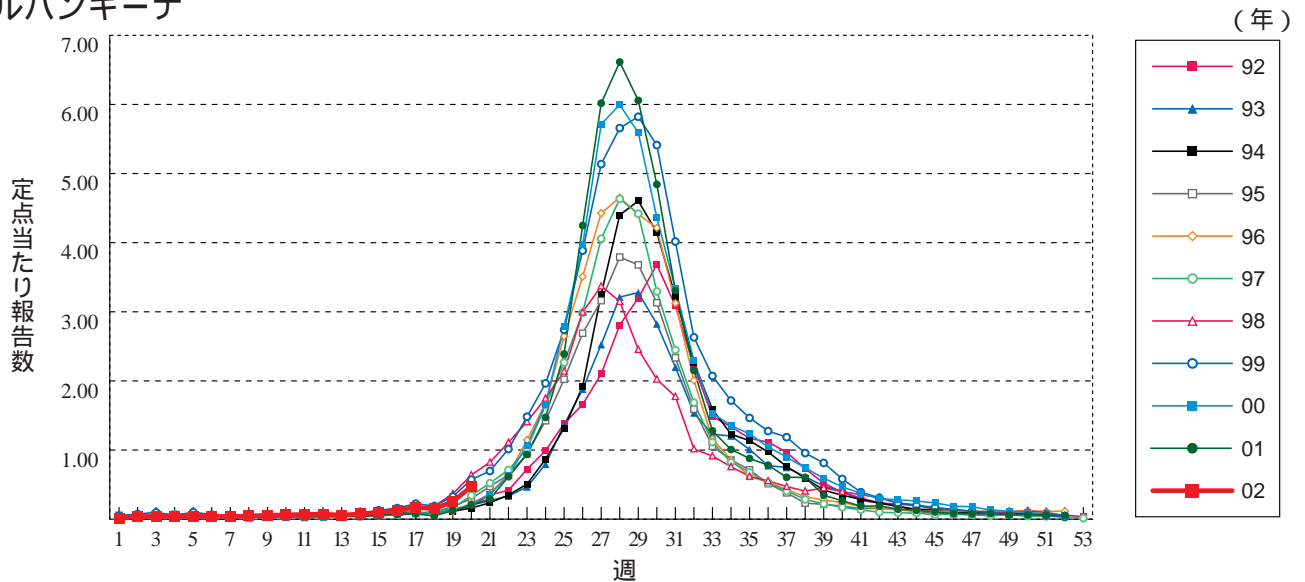
百日咳



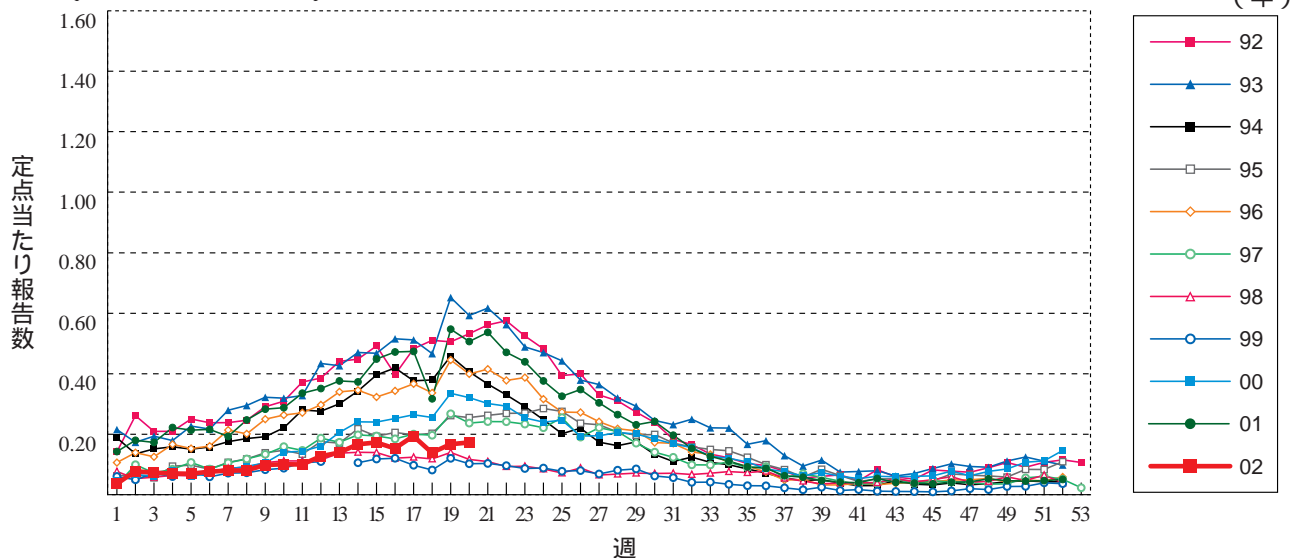
風 疹



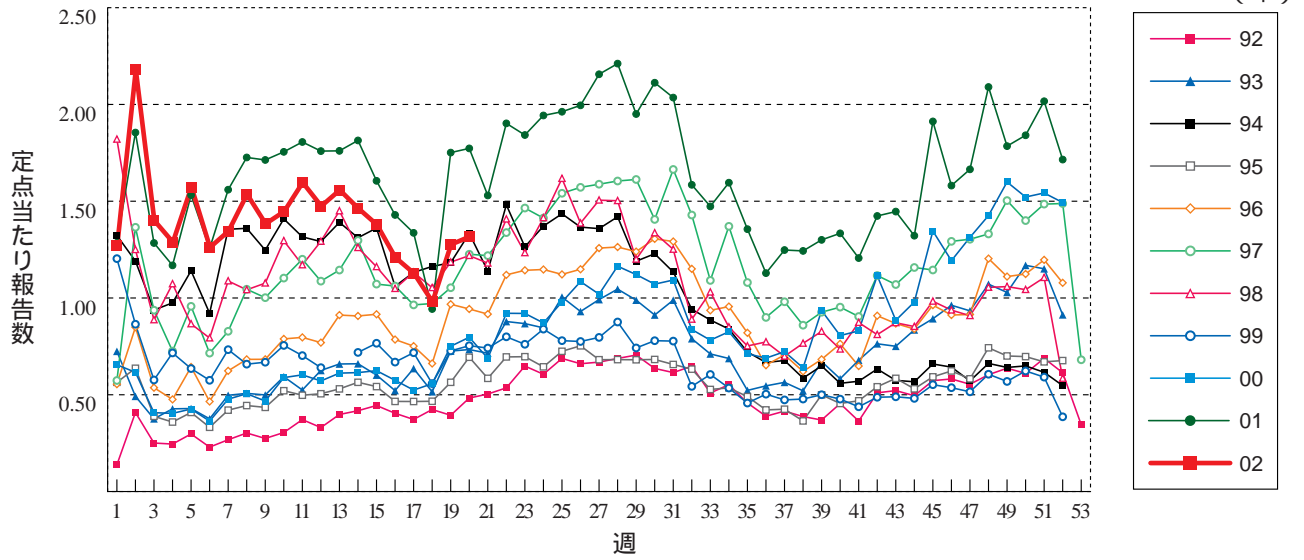
ヘルパンギーナ



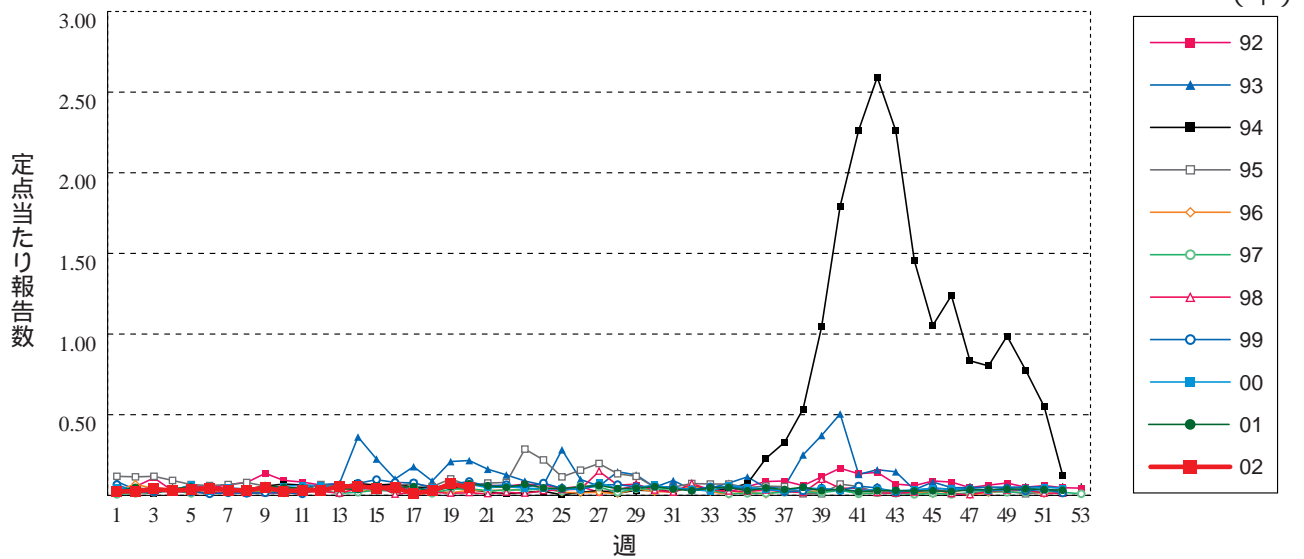
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



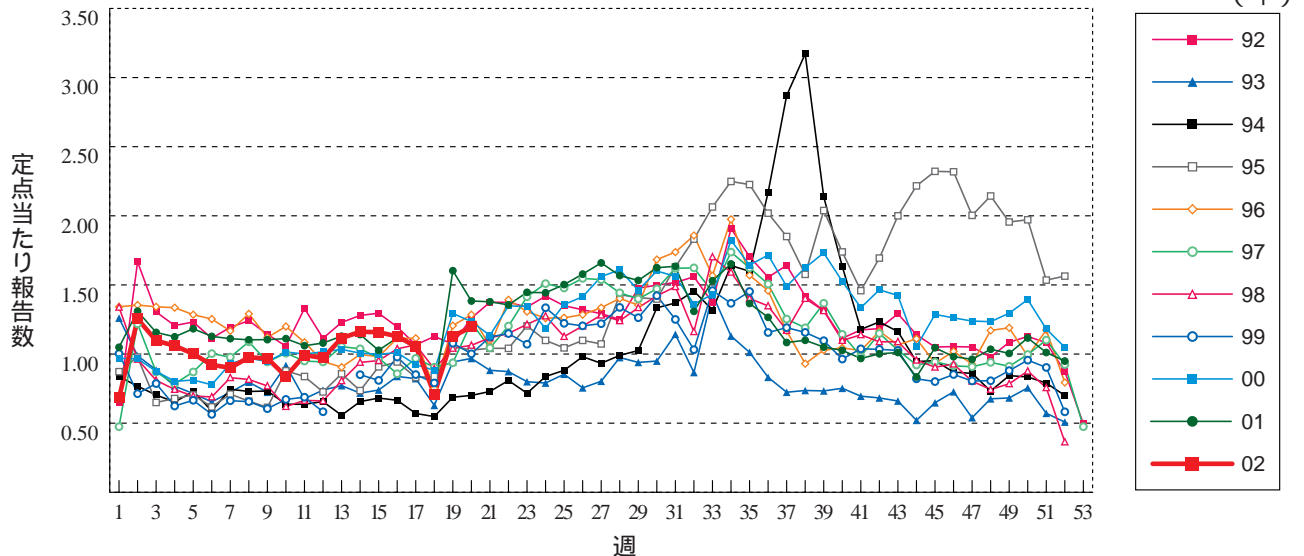
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

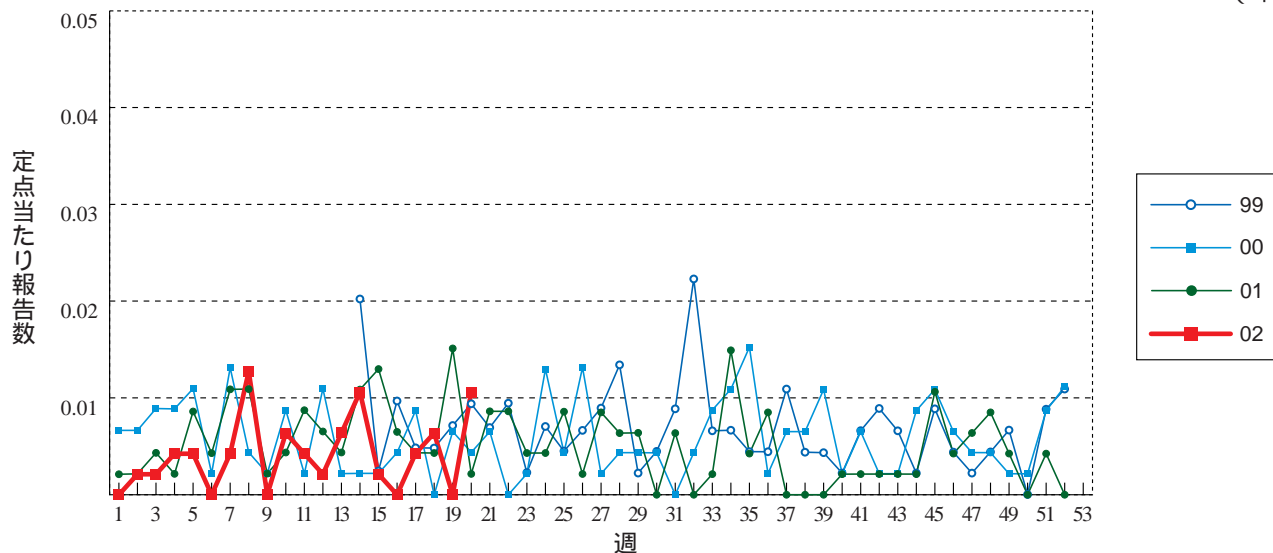


流行性角結膜炎



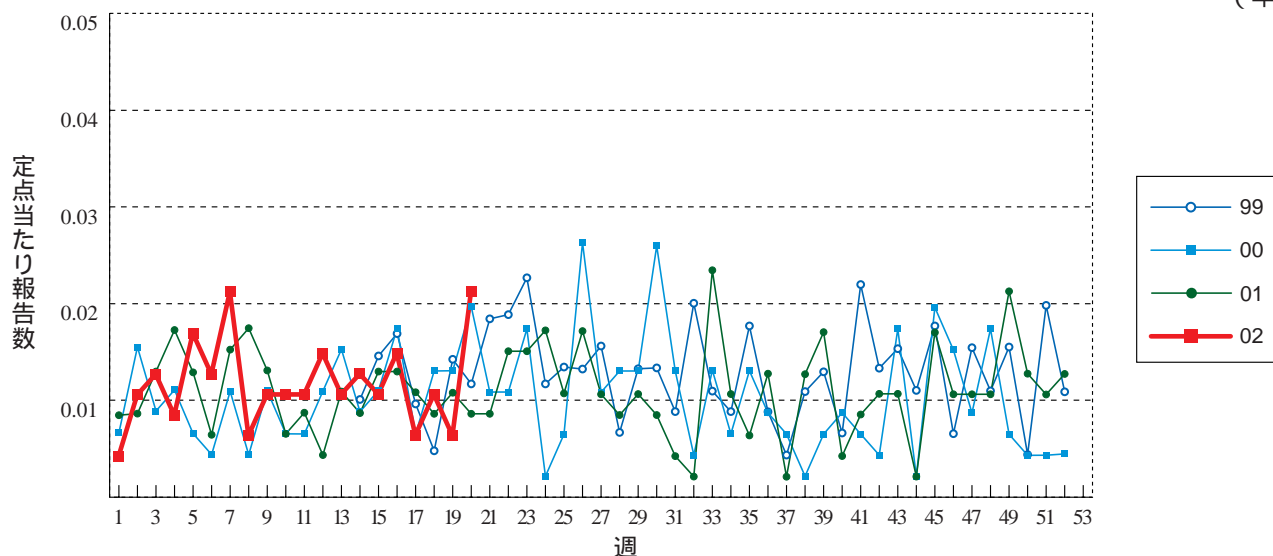
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



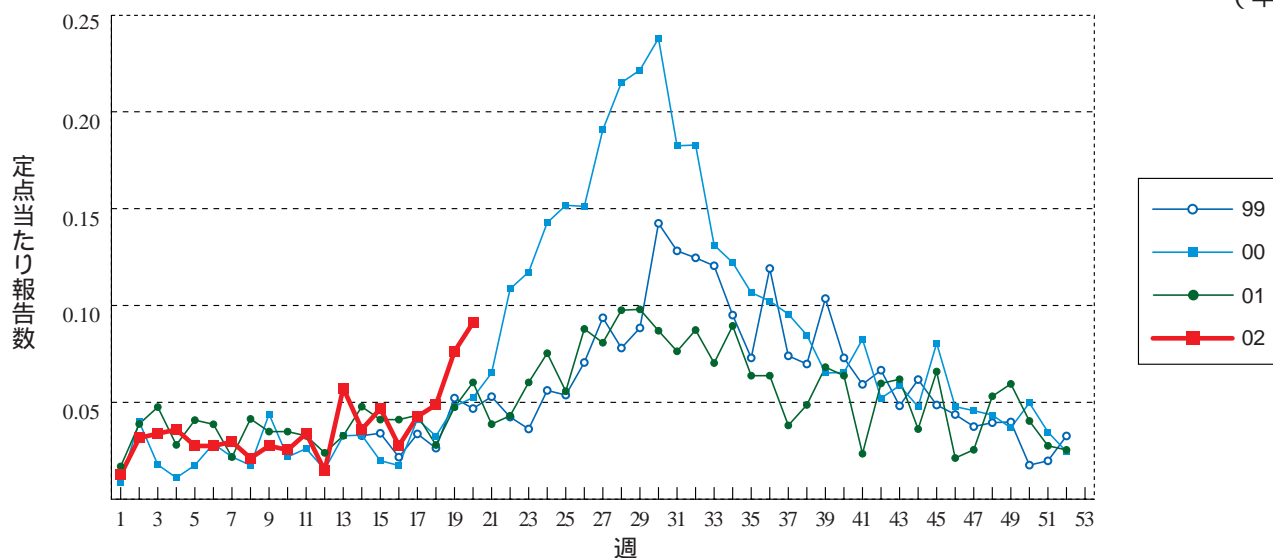
細菌性髄膜炎

(年)

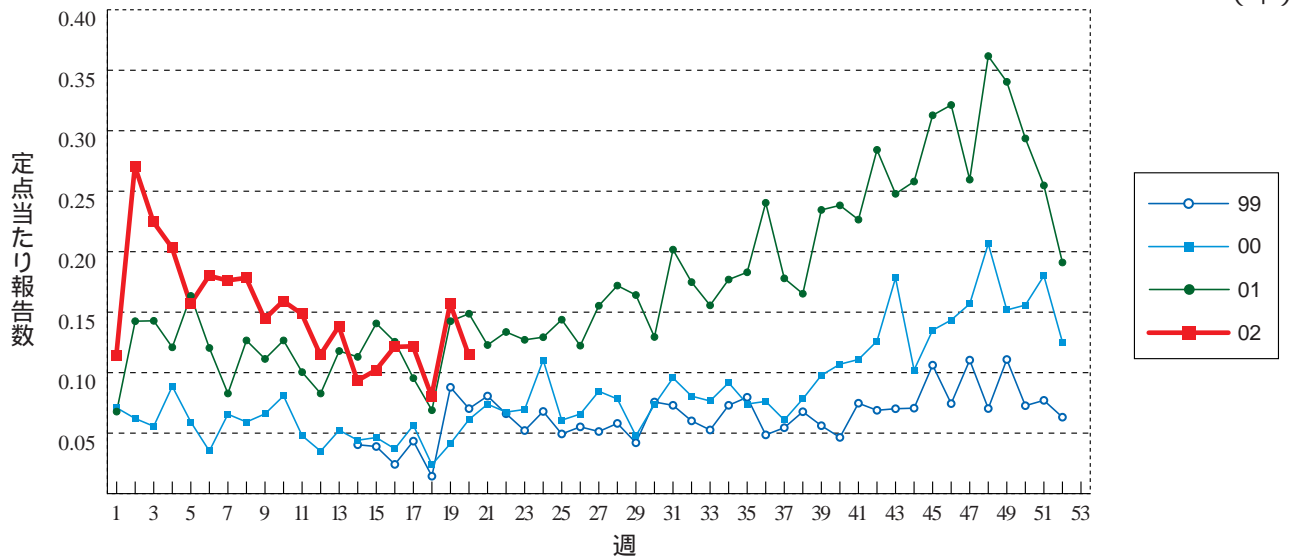


無菌性髄膜炎

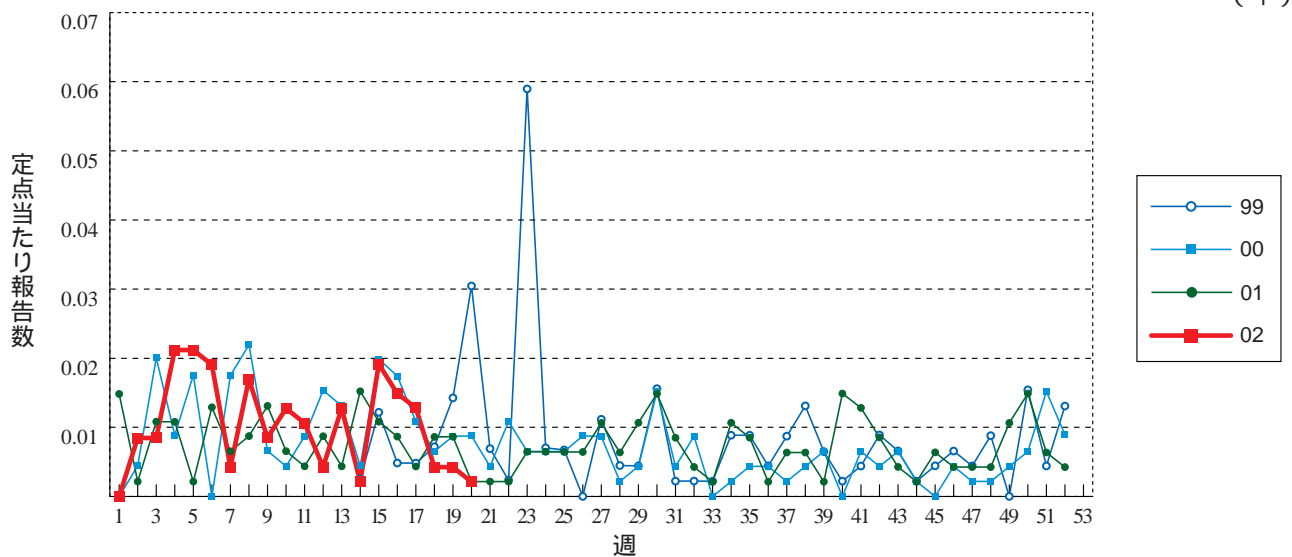
(年)



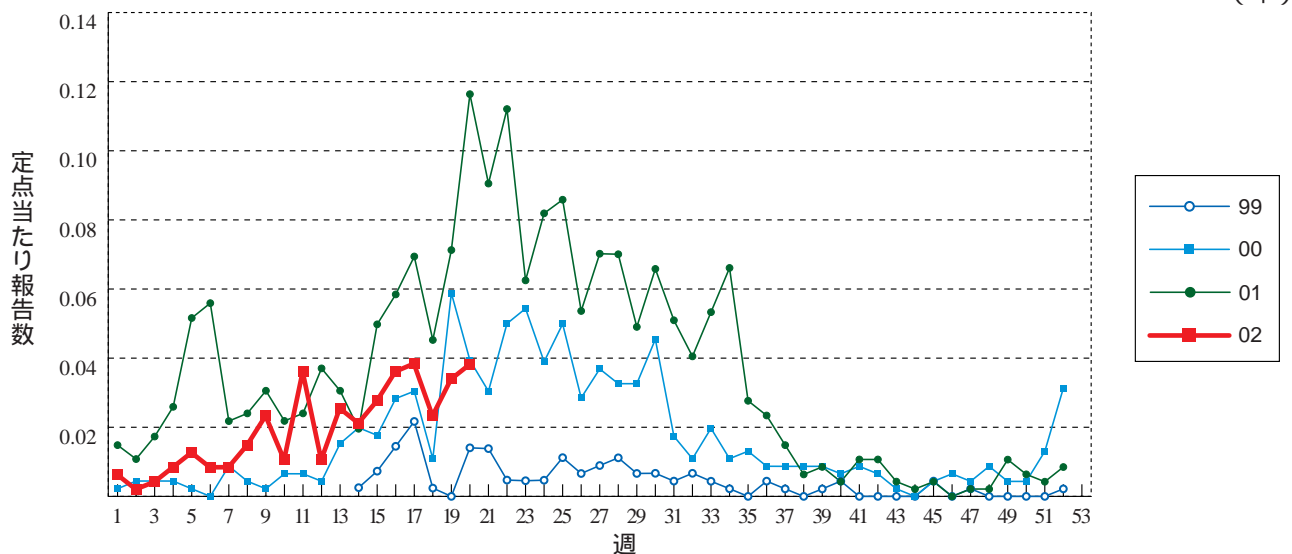
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹

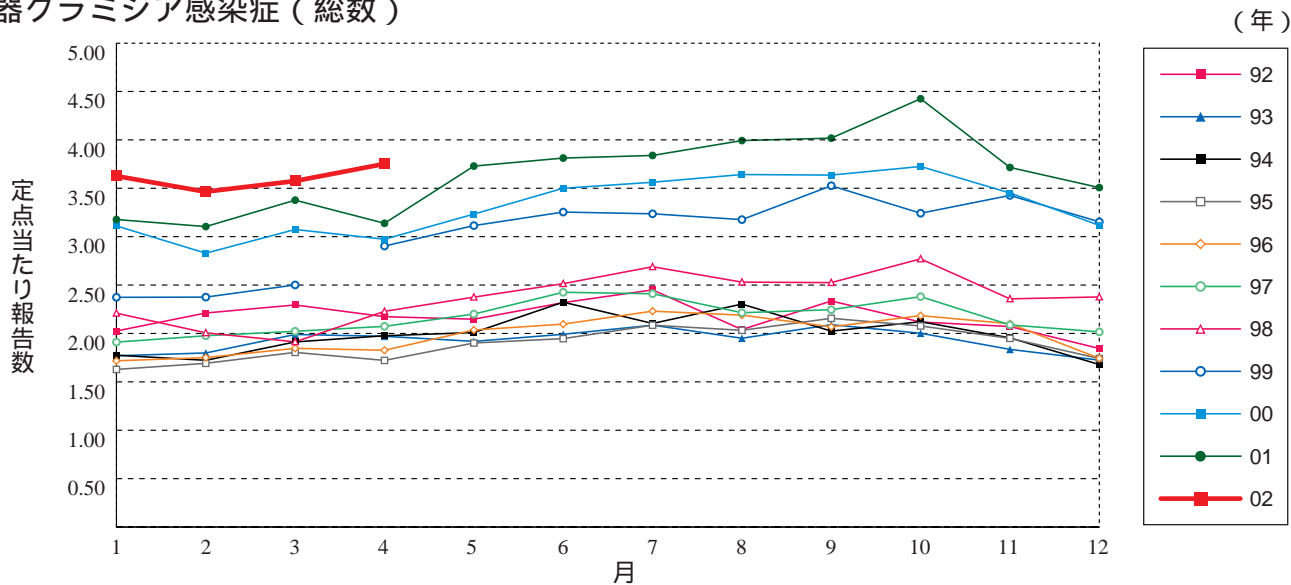




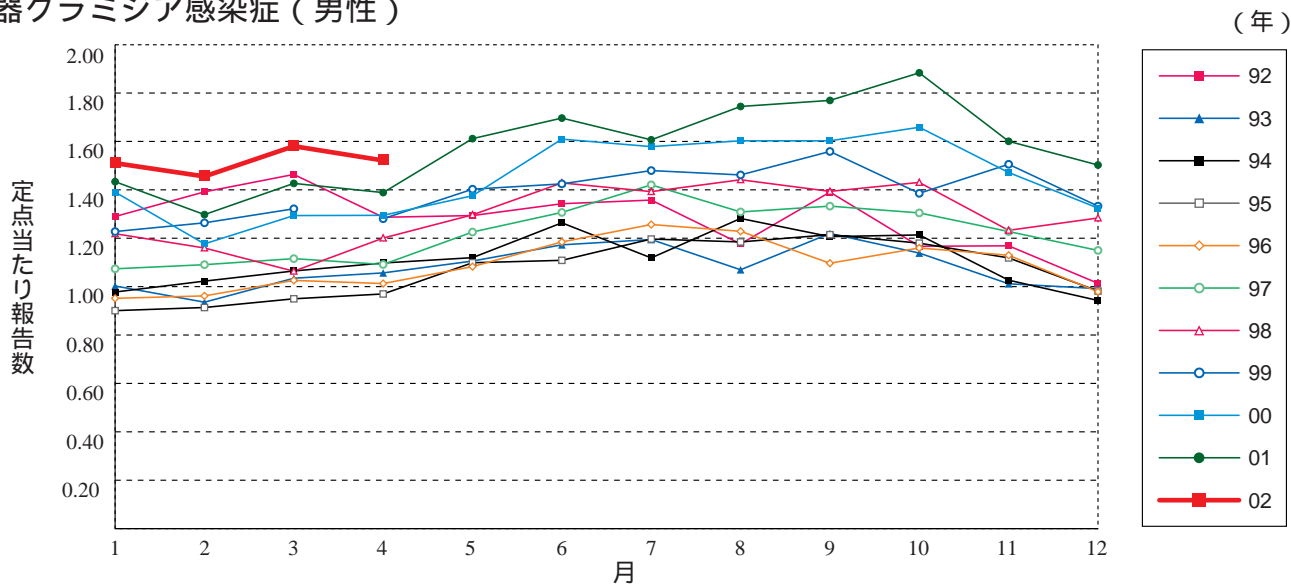
グラフ総覧(4月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

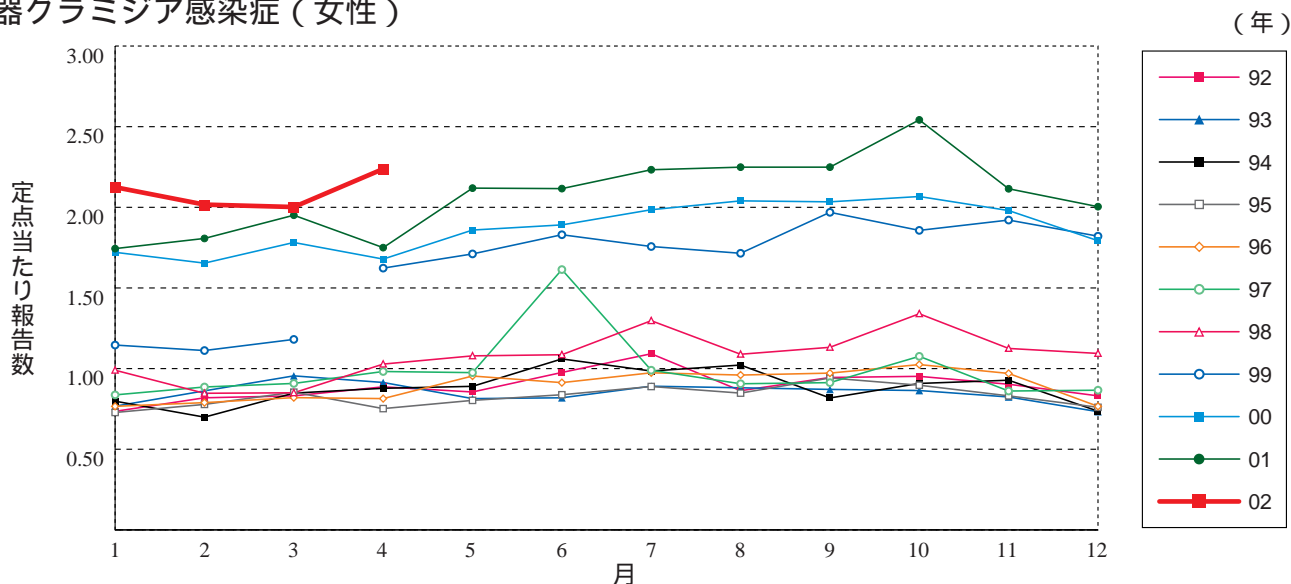
性器クラミジア感染症(総数)



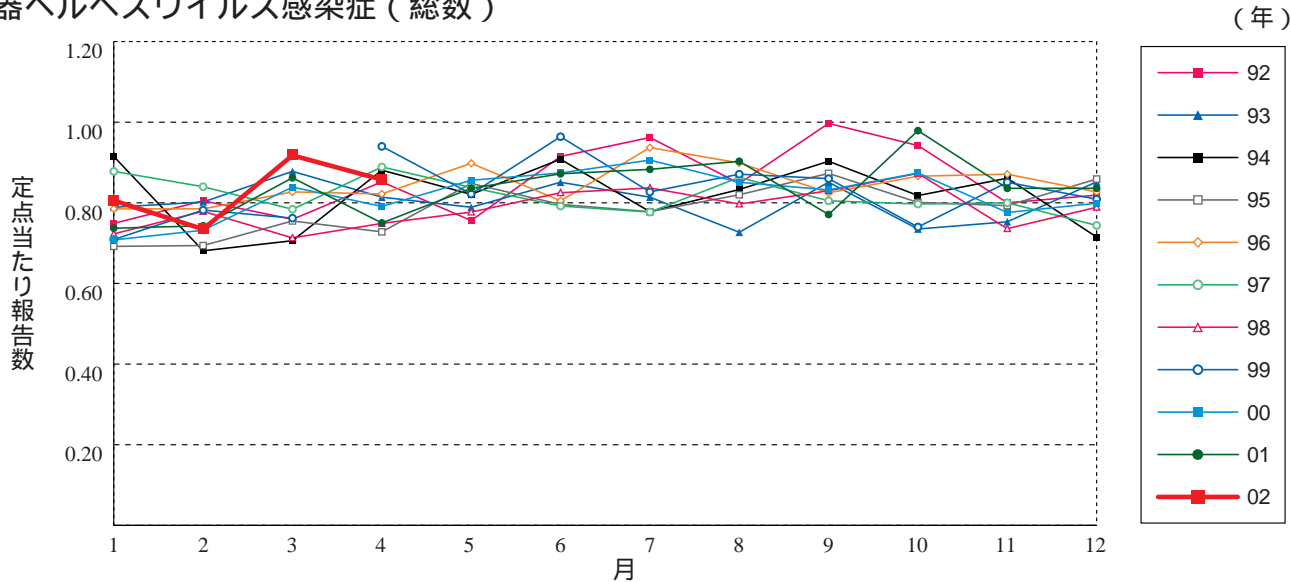
性器クラミジア感染症(男性)



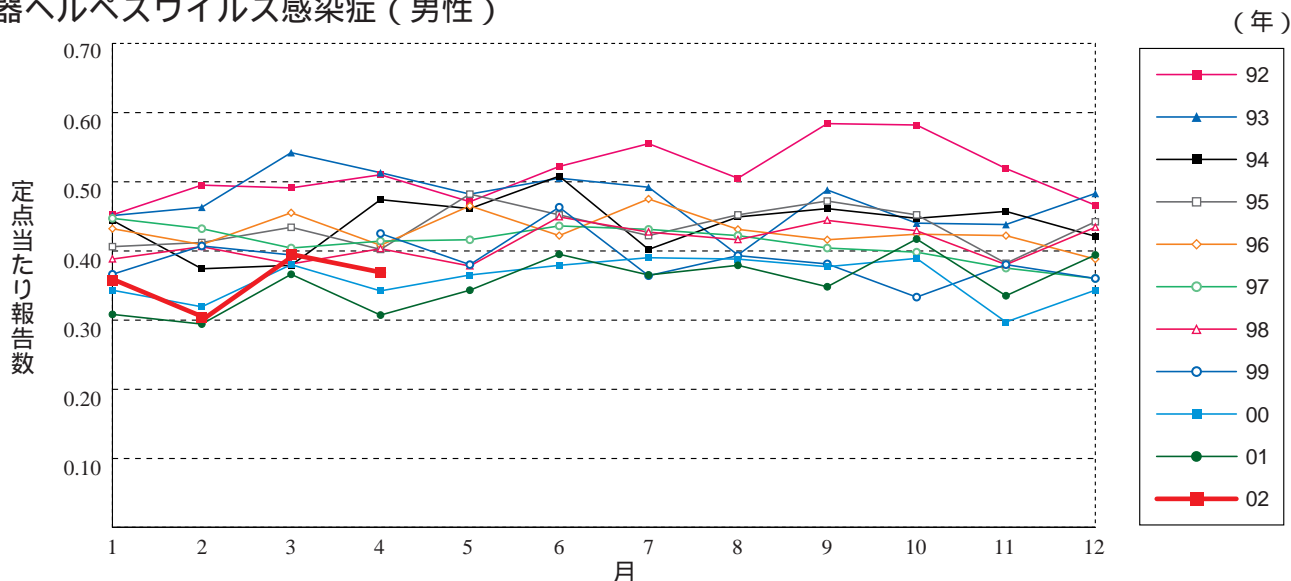
性器クラミジア感染症(女性)



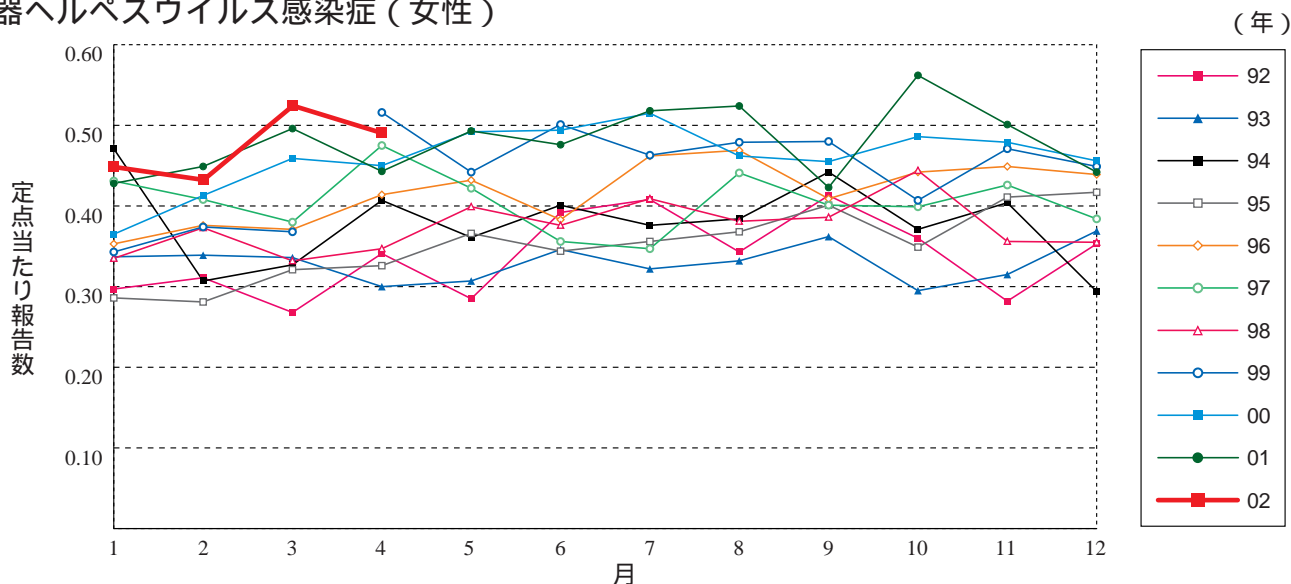
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



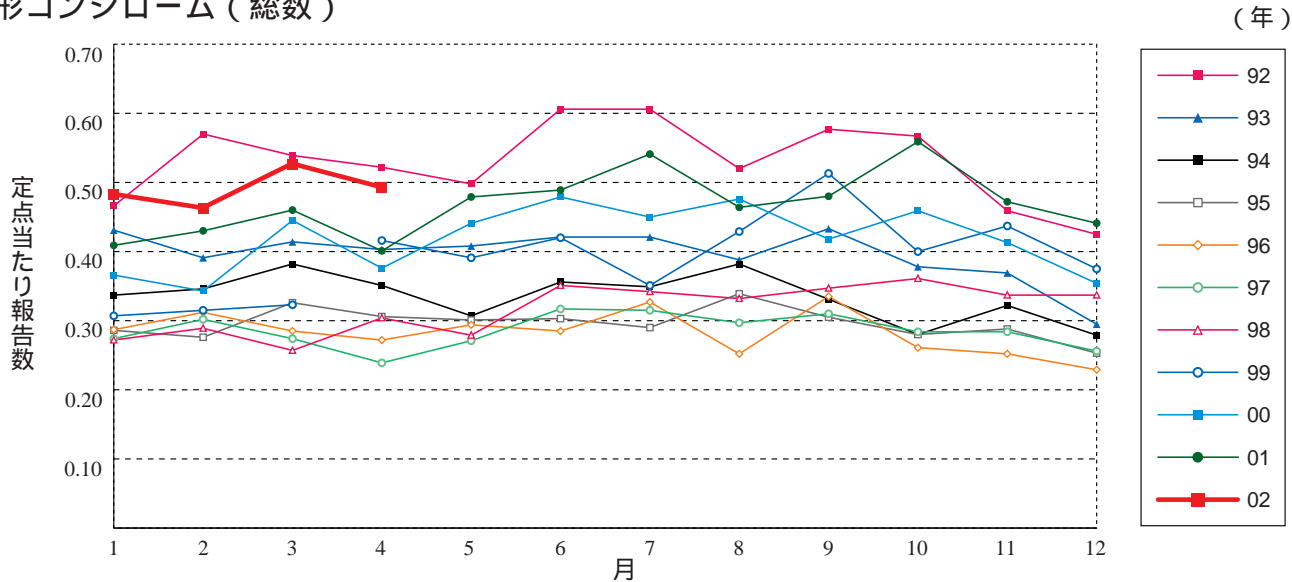
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



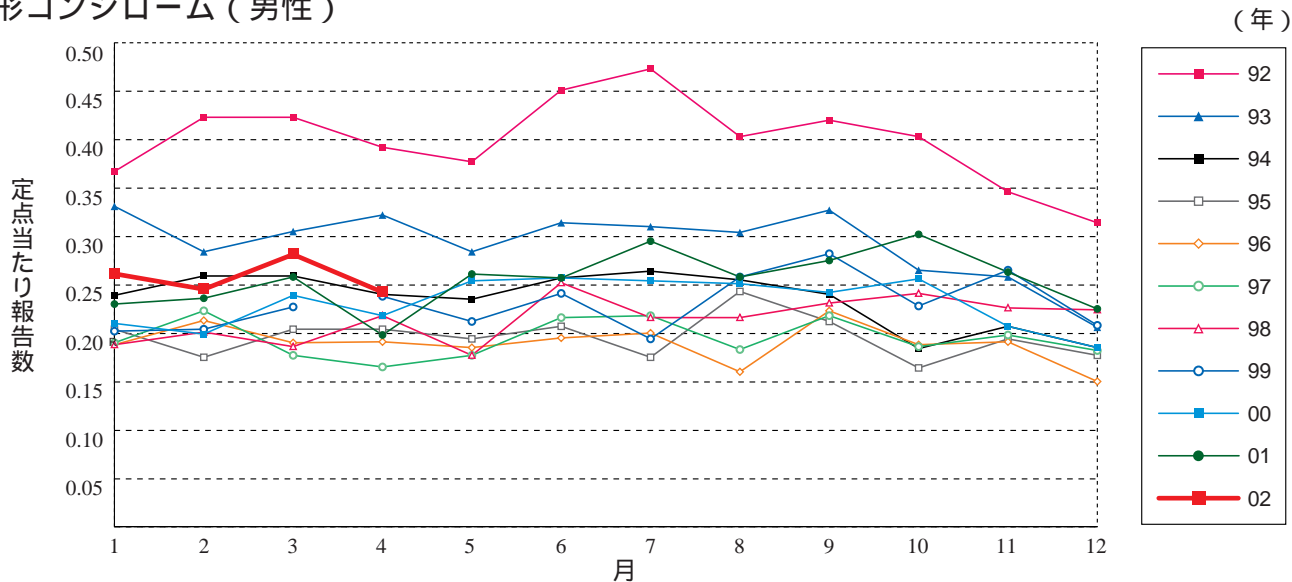
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



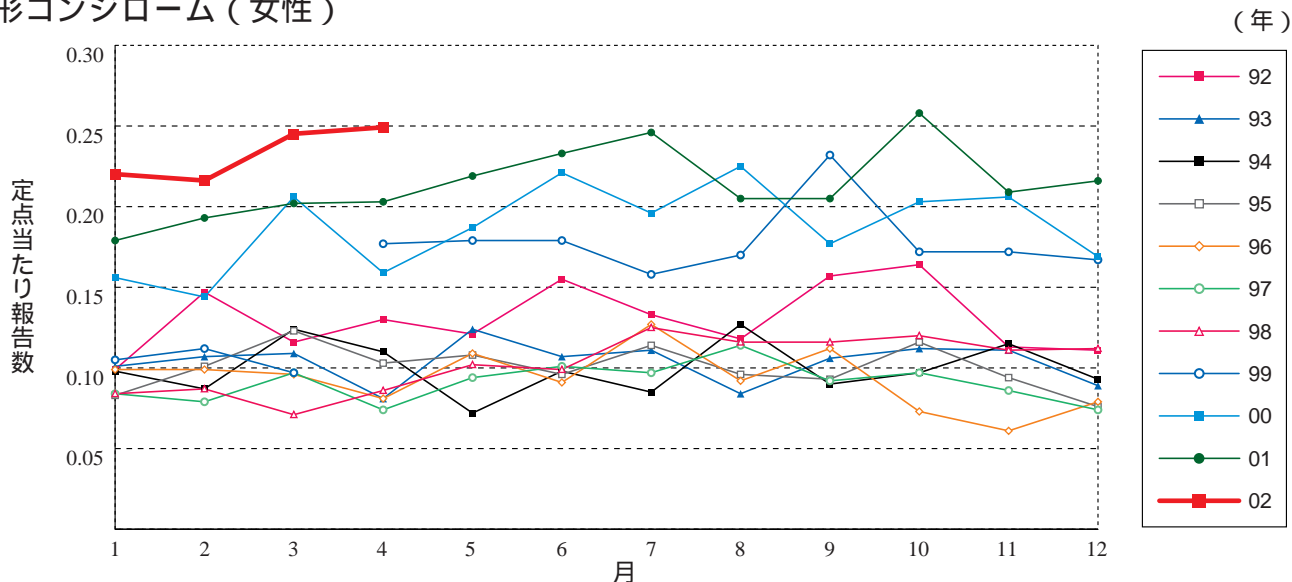
尖形コンジローム(総数)



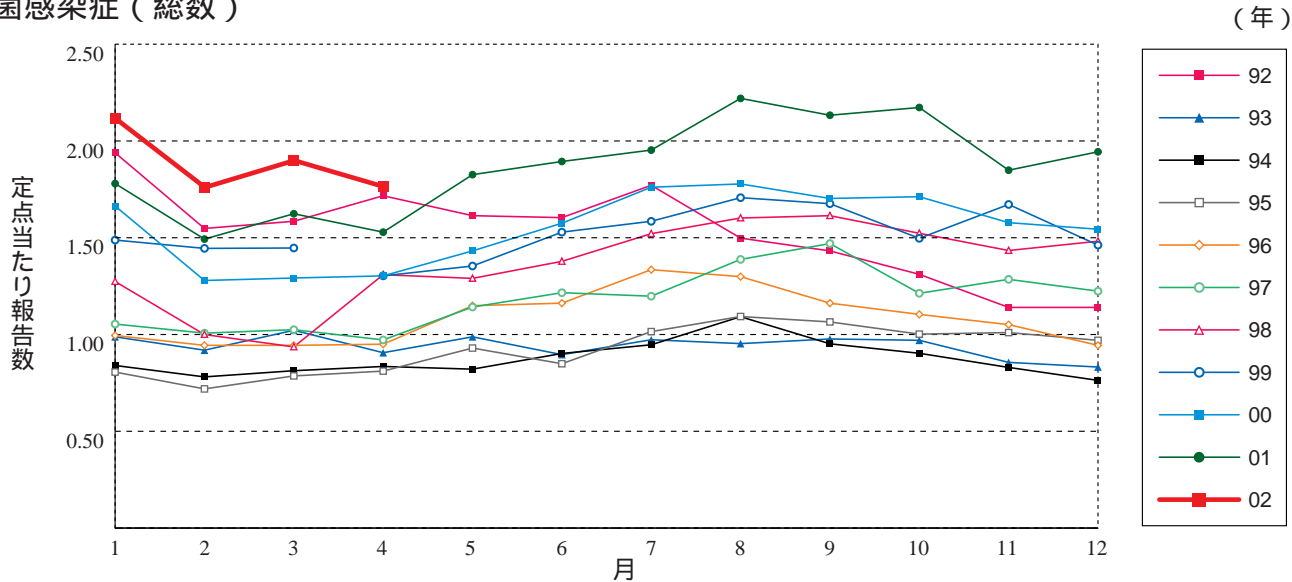
尖形コンジローム(男性)



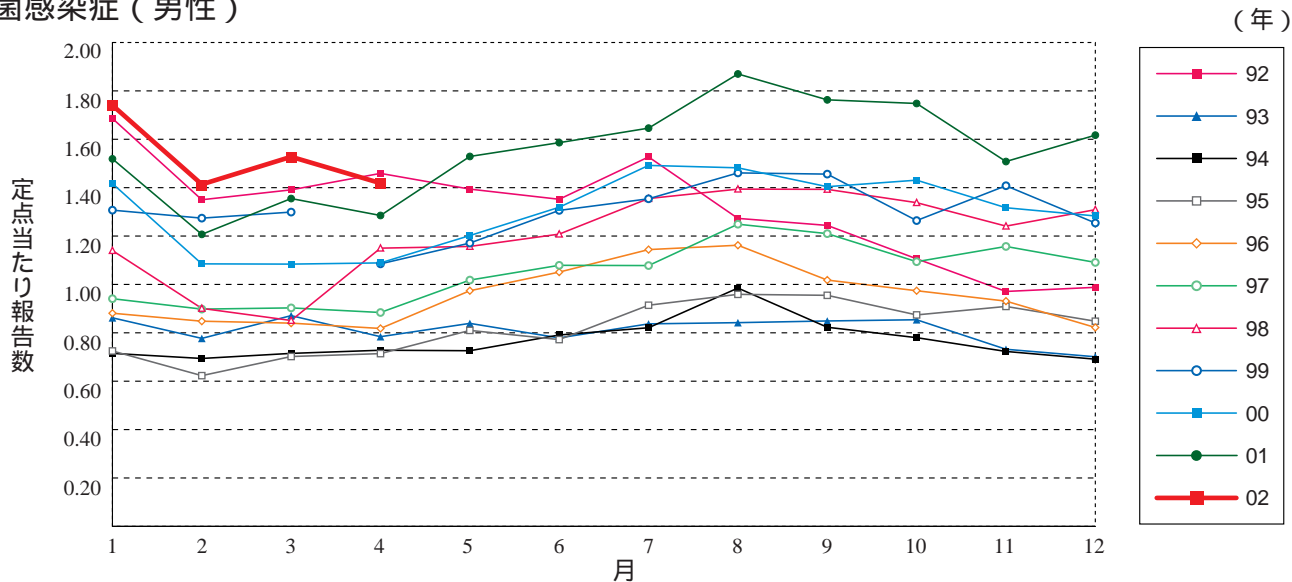
尖形コンジローム(女性)



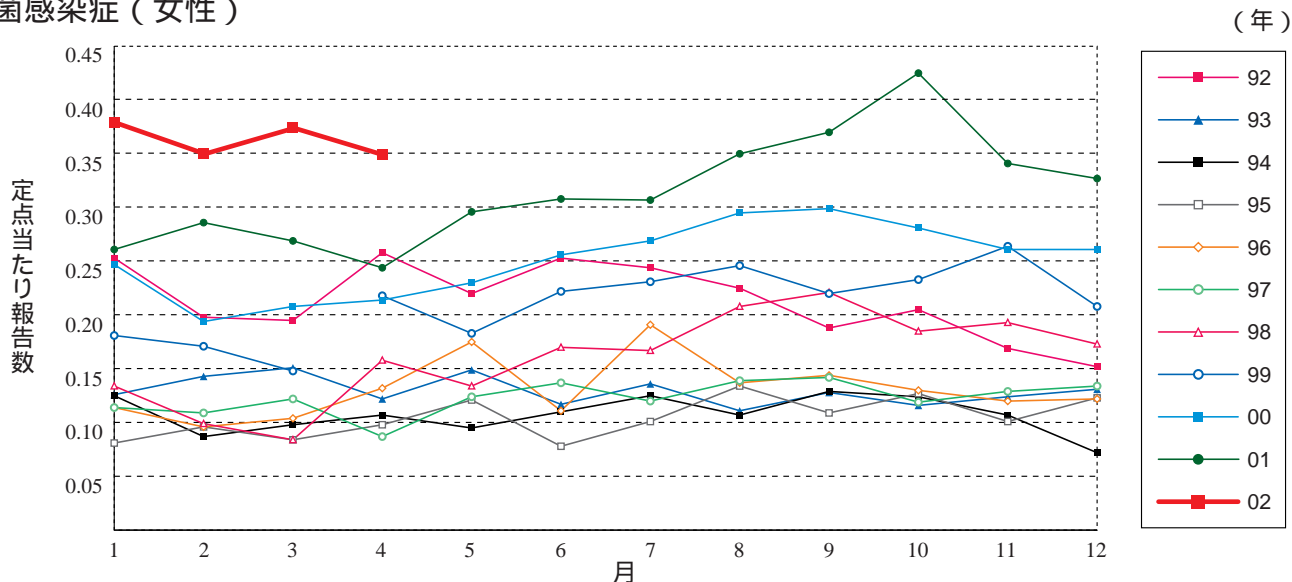
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

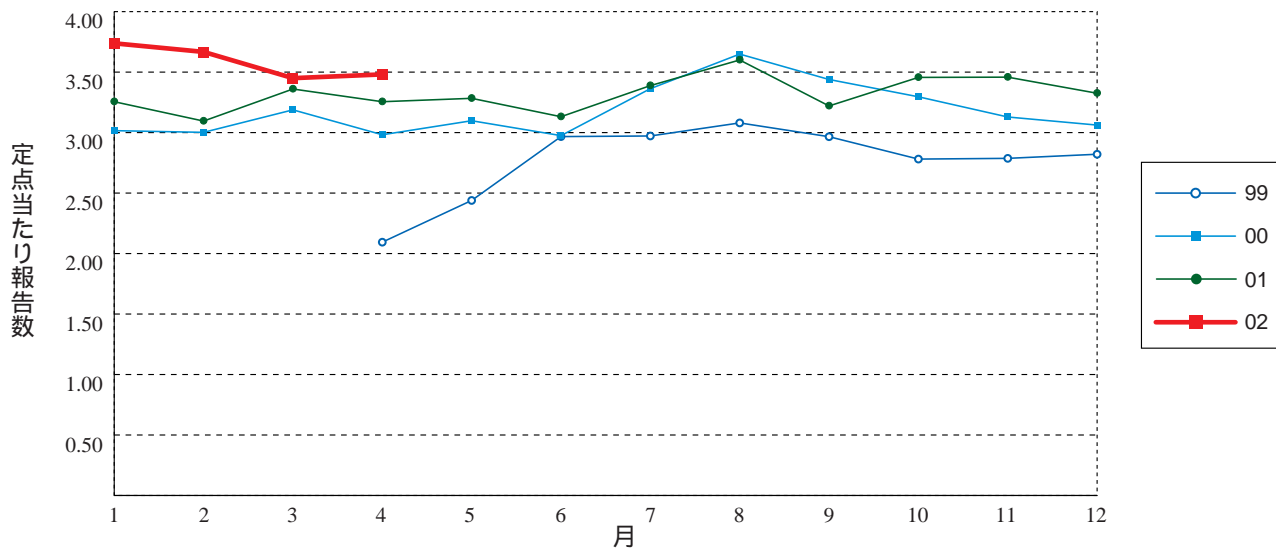


淋菌感染症（女性）



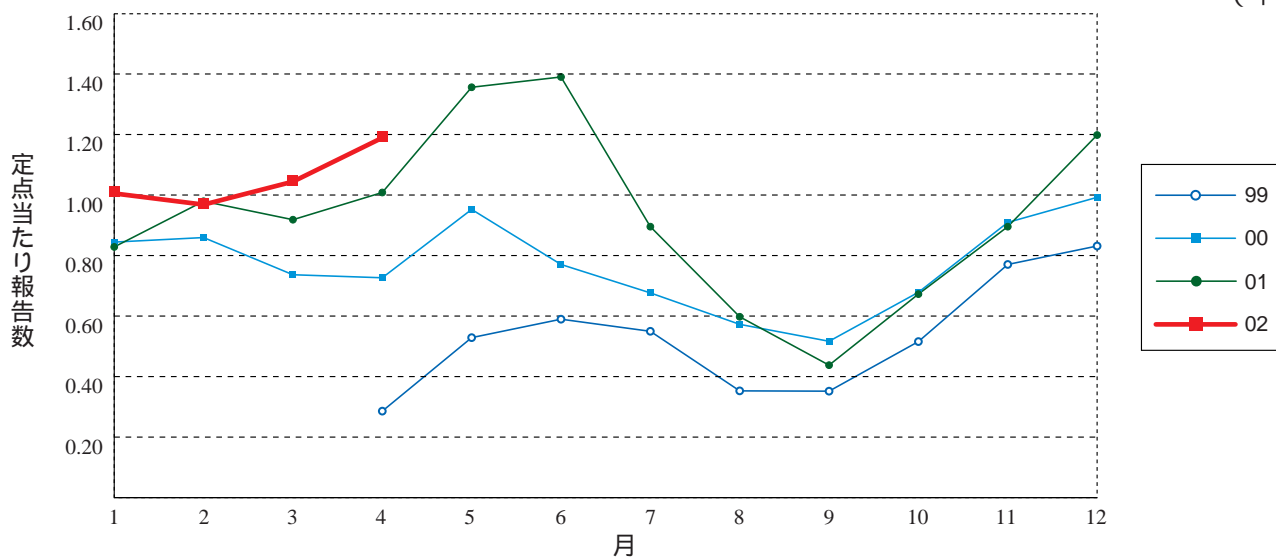
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



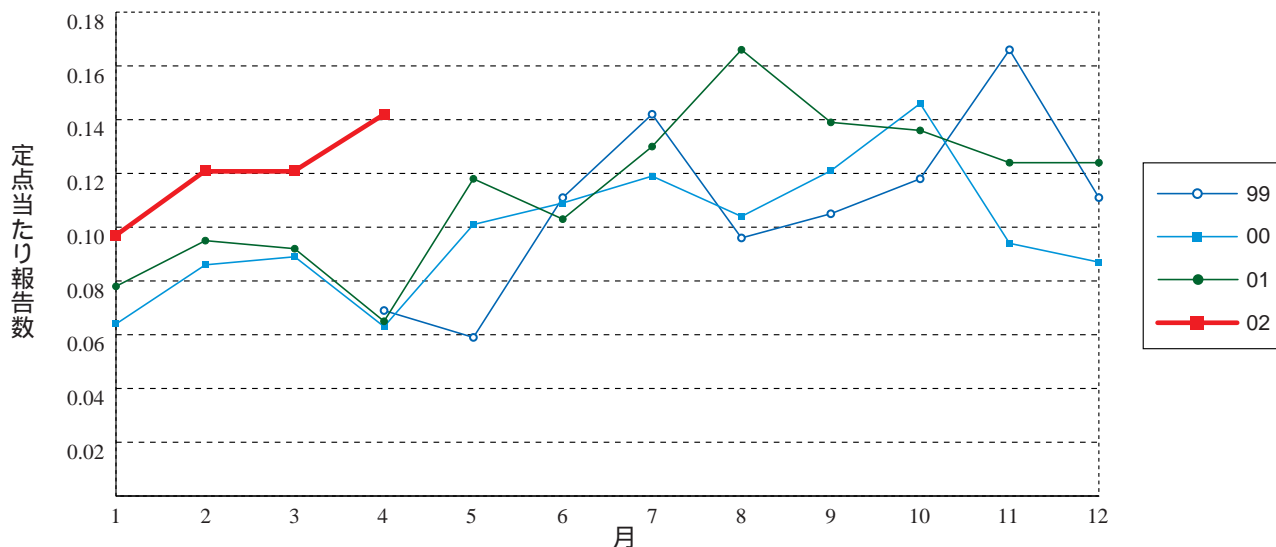
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





4月のデータ

注)表中の報告数は5月15日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）

平成14年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3406	3.76	778	0.86	446	0.49	1599	1.76	1590	3.48	546	1.19	65	0.14
北海道	234	5.57	35	0.83	15	0.36	90	2.14	35	1.52	7	0.30	3	0.13
青森県	51	4.64	9	0.82	3	0.27	29	2.64	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	75	5.77	17	1.31	10	0.77	20	1.54	81	4.05	24	1.20	4	0.20
宮城県	85	5.31	16	1.00	23	1.44	42	2.63	37	3.36	20	1.82	1	0.09
秋田県	18	1.29	-	-	7	0.50	7	0.50	17	2.13	5	0.63	-	-
山形県	29	2.90	3	0.30	1	0.10	13	1.30	41	4.10	15	1.50	-	-
福島県	53	3.31	5	0.31	14	0.88	33	2.06	6	0.86	-	-	-	-
茨城県	80	3.81	17	0.81	2	0.10	41	1.95	26	2.36	-	-	-	-
栃木県	79	4.94	3	0.19	7	0.44	31	1.94	30	4.29	3	0.43	2	0.29
群馬県	130	5.20	22	0.88	10	0.40	38	1.52	29	2.90	3	0.30	4	0.40
埼玉県	169	3.38	24	0.48	10	0.20	72	1.44	16	1.78	5	0.56	-	-
千葉県	83	2.37	13	0.37	11	0.31	21	0.60	42	5.25	46	5.75	-	-
東京都	216	5.54	77	1.97	42	1.08	103	2.64	122	6.78	50	2.78	13	0.72
神奈川県	151	2.52	29	0.48	14	0.23	66	1.10	18	1.64	29	2.64	1	0.09
新潟県	37	1.85	3	0.15	8	0.40	29	1.45	47	3.62	11	0.85	-	-
富山県	15	2.14	1	0.14	3	0.43	11	1.57	33	6.60	22	4.40	1	0.20
石川県	19	1.90	10	1.00	2	0.20	12	1.20	9	1.80	-	-	1	0.20
福井県	12	2.40	5	1.00	1	0.20	4	0.80	28	4.67	12	2.00	1	0.17
山梨県	21	3.50	-	-	-	-	5	0.83	15	1.50	28	2.80	-	-
長野県	68	4.25	14	0.88	19	1.19	20	1.25	35	3.50	8	0.80	-	-
岐阜県	34	2.27	6	0.40	4	0.27	27	1.80	16	3.20	-	-	-	-
静岡県	84	2.80	18	0.60	7	0.23	30	1.00	50	5.00	18	1.80	-	-
愛知県	196	3.84	57	1.12	25	0.49	131	2.57	42	3.23	-	-	1	0.08
三重県	27	2.08	16	1.23	1	0.08	23	1.77	70	8.75	3	0.38	1	0.13
滋賀県	13	1.44	1	0.11	2	0.22	2	0.22	24	4.00	-	-	-	-
京都府	132	6.29	15	0.71	3	0.14	6	0.29	12	1.71	-	-	-	-
大阪府	353	5.98	149	2.53	77	1.31	223	3.78	39	2.79	36	2.57	2	0.14
兵庫県	106	2.30	24	0.52	14	0.30	55	1.20	39	2.79	16	1.14	2	0.14
奈良県	27	3.00	1	0.11	-	-	16	1.78	43	7.17	17	2.83	2	0.33
和歌山県	2	0.25	6	0.75	4	0.50	3	0.38	34	3.09	5	0.45	4	0.36
鳥取県	13	2.60	-	-	-	-	4	0.80	12	2.40	-	-	-	-
島根県	12	2.00	2	0.33	-	-	8	1.33	43	5.38	14	1.75	-	-
岡山県	92	5.41	20	1.18	16	0.94	39	2.29	7	1.75	3	0.75	2	0.50
広島県	61	2.35	16	0.62	16	0.62	25	0.96	125	5.95	65	3.10	6	0.29
山口県	29	2.42	7	0.58	4	0.33	17	1.42	48	6.86	17	2.43	2	0.29
徳島県	4	0.67	2	0.33	-	-	1	0.17	13	1.86	2	0.29	-	-
香川県	31	3.44	7	0.78	6	0.67	4	0.44	28	5.60	4	0.80	-	-
愛媛県	38	3.45	5	0.45	2	0.18	6	0.55	7	1.17	-	-	-	-
高知県	14	2.33	3	0.50	1	0.17	9	1.50	77	9.63	15	1.88	7	0.88
福岡県	224	6.05	37	1.00	28	0.76	146	3.95	20	1.25	5	0.31	-	-
佐賀県	15	2.14	-	-	-	-	11	1.57	14	2.33	4	0.67	1	0.17
長崎県	11	1.38	12	1.50	5	0.63	4	0.50	2	0.18	2	0.18	1	0.09
熊本県	67	4.79	27	1.93	14	1.00	21	1.50	45	3.00	3	0.20	1	0.07
大分県	12	1.20	14	1.40	2	0.20	12	1.20	41	4.10	17	1.70	2	0.20
宮崎県	71	6.45	12	1.09	5	0.45	30	2.73	22	3.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	64	4.00	16	1.00	4	0.25	48	3.00	9	0.75	3	0.25	-	-
沖縄県	49	4.08	2	0.17	4	0.33	11	0.92	37	5.29	8	1.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成14年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1381	1.52	333	0.37	220	0.24	1283	1.42	971	2.12	318	0.70	46	0.10
北海道	56	1.33	5	0.12	7	0.17	42	1.00	23	1.00	3	0.13	3	0.13
青森県	26	2.36	6	0.55	2	0.18	23	2.09	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	26	2.00	7	0.54	2	0.15	19	1.46	45	2.25	13	0.65	1	0.05
宮城県	42	2.63	5	0.31	12	0.75	39	2.44	19	1.73	10	0.91	-	-
秋田県	4	0.29	-	-	-	-	6	0.43	11	1.38	4	0.50	-	-
山形県	13	1.30	-	-	-	-	11	1.10	23	2.30	9	0.90	-	-
福島県	28	1.75	4	0.25	6	0.38	32	2.00	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	41	1.95	4	0.19	2	0.10	39	1.86	21	1.91	-	-	-	-
栃木県	43	2.69	2	0.13	5	0.31	29	1.81	19	2.71	3	0.43	2	0.29
群馬県	77	3.08	9	0.36	7	0.28	25	1.00	20	2.00	3	0.30	3	0.30
埼玉県	50	1.00	13	0.26	5	0.10	53	1.06	11	1.22	4	0.44	-	-
千葉県	35	1.00	5	0.14	2	0.06	14	0.40	26	3.25	25	3.13	-	-
東京都	109	2.79	29	0.74	28	0.72	78	2.00	83	4.61	29	1.61	11	0.61
神奈川県	79	1.32	10	0.17	8	0.13	64	1.07	9	0.82	19	1.73	1	0.09
新潟県	24	1.20	1	0.05	6	0.30	27	1.35	26	2.00	4	0.31	-	-
富山県	10	1.43	-	-	1	0.14	10	1.43	15	3.00	15	3.00	1	0.20
石川県	8	0.80	4	0.40	1	0.10	11	1.10	3	0.60	-	-	-	-
福井県	7	1.40	3	0.60	1	0.20	4	0.80	18	3.00	6	1.00	-	-
山梨県	5	0.83	-	-	-	-	5	0.83	9	0.90	18	1.80	-	-
長野県	28	1.75	5	0.31	5	0.31	14	0.88	24	2.40	7	0.70	-	-
岐阜県	19	1.27	3	0.20	3	0.20	27	1.80	13	2.60	-	-	-	-
静岡県	29	0.97	5	0.17	2	0.07	24	0.80	27	2.70	9	0.90	-	-
愛知県	126	2.47	37	0.73	16	0.31	121	2.37	28	2.15	-	-	-	-
三重県	9	0.69	9	0.69	1	0.08	22	1.69	43	5.38	2	0.25	1	0.13
滋賀県	4	0.44	1	0.11	-	-	1	0.11	16	2.67	-	-	-	-
京都府	7	0.33	3	0.14	1	0.05	2	0.10	6	0.86	-	-	-	-
大阪府	136	2.31	80	1.36	46	0.78	158	2.68	26	1.86	23	1.64	1	0.07
兵庫県	51	1.11	10	0.22	10	0.22	50	1.09	27	1.93	10	0.71	2	0.14
奈良県	17	1.89	1	0.11	-	-	15	1.67	22	3.67	10	1.67	2	0.33
和歌山県	2	0.25	2	0.25	4	0.50	3	0.38	25	2.27	3	0.27	4	0.36
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-	4	0.80	5	1.00	-	-	-	-
島根県	3	0.50	2	0.33	-	-	6	1.00	34	4.25	5	0.63	-	-
岡山県	26	1.53	5	0.29	1	0.06	26	1.53	2	0.50	2	0.50	2	0.50
広島県	21	0.81	3	0.12	3	0.12	20	0.77	75	3.57	38	1.81	3	0.14
山口県	11	0.92	2	0.17	2	0.17	14	1.17	32	4.57	11	1.57	1	0.14
徳島県	3	0.50	-	-	-	-	-	-	9	1.29	1	0.14	-	-
香川県	6	0.67	3	0.33	4	0.44	2	0.22	18	3.60	2	0.40	-	-
愛媛県	7	0.64	3	0.27	-	-	4	0.36	5	0.83	-	-	-	-
高知県	6	1.00	-	-	-	-	6	1.00	41	5.13	9	1.13	5	0.63
福岡県	90	2.43	18	0.49	13	0.35	114	3.08	10	0.63	1	0.06	-	-
佐賀県	9	1.29	-	-	-	-	10	1.43	5	0.83	3	0.50	1	0.17
長崎県	4	0.50	2	0.25	-	-	3	0.38	1	0.09	1	0.09	-	-
熊本県	17	1.21	15	1.07	5	0.36	17	1.21	29	1.93	2	0.13	-	-
大分県	7	0.70	5	0.50	2	0.20	11	1.10	24	2.40	9	0.90	2	0.20
宮崎県	15	1.36	5	0.45	4	0.36	29	2.64	11	1.57	1	0.14	-	-
鹿児島県	39	2.44	7	0.44	2	0.13	45	2.81	4	0.33	1	0.08	-	-
沖縄県	4	0.33	-	-	1	0.08	4	0.33	24	3.43	3	0.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成14年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2025	2.24	445	0.49	226	0.25	316	0.35	619	1.35	228	0.50	19	0.04
北海道	178	4.24	30	0.71	8	0.19	48	1.14	12	0.52	4	0.17	-	-
青森県	25	2.27	3	0.27	1	0.09	6	0.55	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	49	3.77	10	0.77	8	0.62	1	0.08	36	1.80	11	0.55	3	0.15
宮城県	43	2.69	11	0.69	11	0.69	3	0.19	18	1.64	10	0.91	1	0.09
秋田県	14	1.00	-	-	7	0.50	1	0.07	6	0.75	1	0.13	-	-
山形県	16	1.60	3	0.30	1	0.10	2	0.20	18	1.80	6	0.60	-	-
福島県	25	1.56	1	0.06	8	0.50	1	0.06	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	39	1.86	13	0.62	-	-	2	0.10	5	0.45	-	-	-	-
栃木県	36	2.25	1	0.06	2	0.13	2	0.13	11	1.57	-	-	-	-
群馬県	53	2.12	13	0.52	3	0.12	13	0.52	9	0.90	-	-	1	0.10
埼玉県	119	2.38	11	0.22	5	0.10	19	0.38	5	0.56	1	0.11	-	-
千葉県	48	1.37	8	0.23	9	0.26	7	0.20	16	2.00	21	2.63	-	-
東京都	107	2.74	48	1.23	14	0.36	25	0.64	39	2.17	21	1.17	2	0.11
神奈川県	72	1.20	19	0.32	6	0.10	2	0.03	9	0.82	10	0.91	-	-
新潟県	13	0.65	2	0.10	2	0.10	2	0.10	21	1.62	7	0.54	-	-
富山県	5	0.71	1	0.14	2	0.29	1	0.14	18	3.60	7	1.40	-	-
石川県	11	1.10	6	0.60	1	0.10	1	0.10	6	1.20	-	-	1	0.20
福井県	5	1.00	2	0.40	-	-	-	-	10	1.67	6	1.00	1	0.17
山梨県	16	2.67	-	-	-	-	-	-	6	0.60	10	1.00	-	-
長野県	40	2.50	9	0.56	14	0.88	6	0.38	11	1.10	1	0.10	-	-
岐阜県	15	1.00	3	0.20	1	0.07	-	-	3	0.60	-	-	-	-
静岡県	55	1.83	13	0.43	5	0.17	6	0.20	23	2.30	9	0.90	-	-
愛知県	70	1.37	20	0.39	9	0.18	10	0.20	14	1.08	-	-	1	0.08
三重県	18	1.38	7	0.54	-	-	1	0.08	27	3.38	1	0.13	-	-
滋賀県	9	1.00	-	-	2	0.22	1	0.11	8	1.33	-	-	-	-
京都府	125	5.95	12	0.57	2	0.10	4	0.19	6	0.86	-	-	-	-
大阪府	217	3.68	69	1.17	31	0.53	65	1.10	13	0.93	13	0.93	1	0.07
兵庫県	55	1.20	14	0.30	4	0.09	5	0.11	12	0.86	6	0.43	-	-
奈良県	10	1.11	-	-	-	-	1	0.11	21	3.50	7	1.17	-	-
和歌山県	-	-	4	0.50	-	-	-	-	9	0.82	2	0.18	-	-
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-	-
島根県	9	1.50	-	-	-	-	2	0.33	9	1.13	9	1.13	-	-
岡山県	66	3.88	15	0.88	15	0.88	13	0.76	5	1.25	1	0.25	-	-
広島県	40	1.54	13	0.50	13	0.50	5	0.19	50	2.38	27	1.29	3	0.14
山口県	18	1.50	5	0.42	2	0.17	3	0.25	16	2.29	6	0.86	1	0.14
徳島県	1	0.17	2	0.33	-	-	1	0.17	4	0.57	1	0.14	-	-
香川県	25	2.78	4	0.44	2	0.22	2	0.22	10	2.00	2	0.40	-	-
愛媛県	31	2.82	2	0.18	2	0.18	2	0.18	2	0.33	-	-	-	-
高知県	8	1.33	3	0.50	1	0.17	3	0.50	36	4.50	6	0.75	2	0.25
福岡県	134	3.62	19	0.51	15	0.41	32	0.86	10	0.63	4	0.25	-	-
佐賀県	6	0.86	-	-	-	-	1	0.14	9	1.50	1	0.17	-	-
長崎県	7	0.88	10	1.25	5	0.63	1	0.13	1	0.09	1	0.09	1	0.09
熊本県	50	3.57	12	0.86	9	0.64	4	0.29	16	1.07	1	0.07	1	0.07
大分県	5	0.50	9	0.90	-	-	1	0.10	17	1.70	8	0.80	-	-
宮崎県	56	5.09	7	0.64	1	0.09	1	0.09	11	1.57	-	-	-	-
鹿児島県	25	1.56	9	0.56	2	0.13	3	0.19	5	0.42	2	0.17	-	-
沖縄県	45	3.75	2	0.17	3	0.25	7	0.58	13	1.86	5	0.71	-	-

注 5月24日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成14年4月

	結核
	報告数
総数	2795
北海道	78
青森県	29
岩手県	18
宮城県	36
秋田県	13
山形県	11
福島県	26
茨城県	57
栃木県	28
群馬県	25
埼玉県	141
千葉県	126
東京都	308
神奈川県	147
新潟県	55
富山県	17
石川県	16
福井県	13
山梨県	9
長野県	28
岐阜県	60
静岡県	68
愛知県	174
三重県	45
滋賀県	29
京都府	66
大阪府	364
兵庫県	158
奈良県	28
和歌山県	25
鳥取県	13
島根県	9
岡山県	30
広島県	45
山口県	35
徳島県	34
香川県	12
愛媛県	41
高知県	17
福岡県	142
佐賀県	21
長崎県	46
熊本県	31
大分県	36
宮崎県	25
鹿児島県	36
沖縄県	24



20週のデータ

注)表中の報告数は5月23日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年20週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	12	329	2	27	-	14	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	64	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	34	1	11	-	5	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	15	-	3	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	1	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	1	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	1	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年20週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	83	397	5	157	-	4	-	-	-	32	-	-	10	433
北海道	-	-	-	-	2	6	-	6	-	4	-	-	-	3	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	3	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
福島県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
埼玉県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
千葉県	-	-	-	-	1	2	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	2	24
東京都	-	-	-	-	1	13	1	33	-	-	-	-	-	1	-	-	-	83
神奈川県	-	-	-	-	-	10	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	6	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	4	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13
静岡県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛知県	-	-	-	-	3	12	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	3	13	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
大阪府	-	-	-	-	9	45	-	21	-	-	-	-	-	2	-	-	1	23
兵庫県	-	-	-	-	15	60	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	20
奈良県	-	-	-	-	2	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	5	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	4	25	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
広島県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
徳島県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	2	14	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	9	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
長崎県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年20週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	15	-	-	-	97	4	56	1	41	6	282	-	1	3	42	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	17	-	-	-	3	-	-
東京都	-	12	-	-	-	2	-	3	-	3	1	114	-	-	2	23	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	19	-	-	1	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	2	8	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	12	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	1	5	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	27	-	1	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	1	3	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年20週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	7	82	1	20	-	1	-	-	-	-	9	185
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
山形県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3
福島県	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	20
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	3	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年20週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	26	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	1	30	-	-	1	37
北海道	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
東京都	-	2	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	4
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年20週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2981	0.64	258	0.09	4279	1.41	13538	4.47	7264	2.40	1217	0.40	1737	0.57	2522	0.83	40	0.01
北海道	375	1.63	11	0.08	378	2.61	481	3.32	283	1.95	29	0.20	41	0.28	97	0.67	1	0.01
青森県	376	5.78	18	0.43	52	1.24	185	4.40	71	1.69	13	0.31	75	1.79	16	0.38	-	-
岩手県	345	5.56	-	-	36	0.95	157	4.13	99	2.61	1	0.03	6	0.16	25	0.66	-	-
宮城県	406	4.19	1	0.02	57	0.97	421	7.14	134	2.27	26	0.44	39	0.66	44	0.75	-	-
秋田県	227	4.13	-	-	47	1.34	210	6.00	85	2.43	6	0.17	41	1.17	17	0.49	-	-
山形県	125	2.60	-	-	80	2.67	171	5.70	120	4.00	2	0.07	21	0.70	29	0.97	3	0.10
福島県	76	0.95	-	-	54	1.17	319	6.93	180	3.91	30	0.65	51	1.11	31	0.67	2	0.04
茨城県	3	0.03	2	0.03	104	1.35	211	2.74	113	1.47	25	0.32	48	0.62	33	0.43	2	0.03
栃木県	18	0.26	-	-	76	1.65	180	3.91	102	2.22	12	0.26	77	1.67	41	0.89	2	0.04
群馬県	4	0.04	1	0.02	106	1.71	255	4.11	117	1.89	4	0.06	38	0.61	45	0.73	-	-
埼玉県	20	0.08	22	0.14	295	1.89	886	5.68	496	3.18	29	0.19	83	0.53	157	1.01	1	0.01
千葉県	3	0.01	9	0.07	242	1.81	600	4.48	349	2.60	34	0.25	44	0.33	106	0.79	1	0.01
東京都	6	0.03	6	0.04	129	0.91	496	3.49	154	1.08	47	0.33	46	0.32	86	0.61	-	-
神奈川県	12	0.04	26	0.13	244	1.18	781	3.79	369	1.79	123	0.60	104	0.50	217	1.05	1	0.00
新潟県	104	1.25	22	0.44	107	2.14	318	6.36	198	3.96	16	0.32	48	0.96	50	1.00	-	-
富山県	3	0.06	2	0.07	111	3.83	133	4.59	107	3.69	14	0.48	67	2.31	25	0.86	-	-
石川県	21	0.44	1	0.03	24	0.83	196	6.76	100	3.45	21	0.72	67	2.31	18	0.62	-	-
福井県	1	0.03	7	0.32	36	1.64	128	5.82	65	2.95	1	0.05	11	0.50	14	0.64	-	-
山梨県	9	0.22	-	-	42	1.68	72	2.88	29	1.16	-	-	12	0.48	16	0.64	-	-
長野県	2	0.02	2	0.04	131	2.43	314	5.81	109	2.02	6	0.11	55	1.02	42	0.78	2	0.04
岐阜県	-	-	-	-	58	1.23	154	3.28	156	3.32	2	0.04	43	0.91	40	0.85	-	-
静岡県	16	0.12	10	0.12	124	1.44	387	4.50	235	2.73	31	0.36	83	0.97	83	0.97	-	-
愛知県	14	0.07	10	0.05	203	1.12	604	3.32	409	2.25	86	0.47	72	0.40	149	0.82	3	0.02
三重県	-	-	4	0.09	50	1.11	261	5.80	121	2.69	12	0.27	30	0.67	44	0.98	-	-
滋賀県	1	0.02	22	0.69	14	0.44	161	5.03	98	3.06	4	0.13	7	0.22	16	0.50	-	-
京都府	11	0.09	-	-	73	0.96	445	5.86	118	1.55	8	0.11	40	0.53	34	0.45	4	0.05
大阪府	8	0.03	14	0.07	227	1.16	741	3.80	418	2.14	69	0.35	76	0.39	150	0.77	2	0.01
兵庫県	8	0.04	12	0.09	119	0.93	712	5.56	456	3.56	53	0.41	69	0.54	126	0.98	2	0.02
奈良県	-	-	-	-	26	0.74	122	3.49	87	2.49	11	0.31	23	0.66	26	0.74	-	-
和歌山県	1	0.02	1	0.03	37	1.19	114	3.68	52	1.68	5	0.16	13	0.42	30	0.97	1	0.03
鳥取県	5	0.17	1	0.05	25	1.32	210	11.05	68	3.58	10	0.53	26	1.37	24	1.26	-	-
島根県	24	0.63	2	0.09	24	1.04	62	2.70	55	2.39	56	2.43	27	1.17	16	0.70	-	-
岡山県	20	0.24	2	0.04	25	0.46	149	2.76	105	1.94	21	0.39	13	0.24	33	0.61	-	-
広島県	6	0.05	10	0.14	58	0.78	337	4.55	133	1.80	20	0.27	9	0.12	68	0.92	-	-
山口県	66	0.94	2	0.04	64	1.31	235	4.80	131	2.67	8	0.16	59	1.20	55	1.12	-	-
徳島県	24	0.63	1	0.04	27	1.17	84	3.65	40	1.74	5	0.22	9	0.39	16	0.70	1	0.04
香川県	26	0.51	1	0.03	25	0.78	154	4.81	57	1.78	66	2.06	12	0.38	23	0.72	-	-
愛媛県	2	0.03	5	0.13	101	2.59	226	5.79	120	3.08	8	0.21	28	0.72	48	1.23	-	-
高知県	-	-	1	0.03	56	1.81	90	2.90	39	1.26	174	5.61	8	0.26	24	0.77	-	-
福岡県	292	1.47	4	0.03	251	2.09	603	5.03	366	3.05	7	0.06	39	0.33	147	1.23	7	0.06
佐賀県	40	1.03	-	-	33	1.43	56	2.43	57	2.48	10	0.43	7	0.30	27	1.17	1	0.04
長崎県	50	0.71	1	0.02	20	0.45	147	3.34	73	1.66	5	0.11	24	0.55	25	0.57	-	-
熊本県	85	1.05	7	0.14	103	2.10	188	3.84	138	2.82	6	0.12	15	0.31	58	1.18	2	0.04
大分県	17	0.29	2	0.06	63	1.75	226	6.28	92	2.56	7	0.19	5	0.14	43	1.19	2	0.06
宮崎県	41	0.68	7	0.19	83	2.24	271	7.32	140	3.78	14	0.38	13	0.35	48	1.30	-	-
鹿児島県	34	0.35	5	0.08	37	0.62	275	4.58	161	2.68	-	-	12	0.20	42	0.70	-	-
沖縄県	54	0.93	4	0.12	2	0.06	10	0.29	59	1.74	80	2.35	1	0.03	18	0.53	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年20週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	121	0.04	1432	0.47	523	0.17	3991	1.32	29	0.05	757	1.20	5	0.01	10	0.02	43	0.09
北海道	3	0.02	2	0.01	2	0.01	125	0.86	-	-	28	0.97	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	5	0.12	44	1.05	76	1.81	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	12	0.32	2	0.05	58	1.53	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	12	0.20	2	0.03	159	2.69	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	6	0.17	3	0.09	66	1.89	1	0.14	6	0.86	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.03	3	0.10	4	0.13	131	4.37	-	-	13	1.63	-	-	-	-	1	0.10
福島県	1	0.02	2	0.04	13	0.28	81	1.76	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	38	0.49	16	0.21	75	0.97	1	0.06	59	3.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	1	0.02	96	2.09	1	0.08	23	1.92	-	-	1	0.14	3	0.43
群馬県	1	0.02	10	0.16	17	0.27	70	1.13	1	0.07	73	5.21	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	35	0.22	26	0.17	139	0.89	-	-	35	1.03	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	38	0.28	63	0.47	152	1.13	-	-	45	1.29	-	-	-	-	-	-
東京都	4	0.03	45	0.32	19	0.13	82	0.58	1	0.07	16	1.14	1	0.04	1	0.04	2	0.08
神奈川県	1	0.00	30	0.15	32	0.16	171	0.83	3	0.07	68	1.62	-	-	1	0.09	-	-
新潟県	-	-	43	0.86	1	0.02	147	2.94	-	-	17	2.83	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	4	0.14	2	0.07	111	3.83	2	0.29	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	36	1.24	8	0.28	34	1.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	4	0.18	-	-	6	0.27	-	-	3	1.00	-	-	-	-	4	0.67
山梨県	-	-	6	0.24	9	0.36	66	2.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	9	0.17	3	0.06	109	2.02	-	-	27	2.70	-	-	-	-	-	-
岐阜県	2	0.04	8	0.17	22	0.47	42	0.89	-	-	8	0.73	-	-	1	0.25	-	-
静岡県	-	-	25	0.29	21	0.24	115	1.34	-	-	15	0.75	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.02	57	0.31	124	0.68	196	1.08	-	-	20	0.57	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	6	0.13	6	0.13	66	1.47	1	0.08	8	0.67	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	9	0.28	31	0.97	-	-	8	1.14	-	-	1	0.14	2	0.29
京都府	6	0.08	3	0.04	4	0.05	23	0.30	-	-	10	0.56	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	1	0.01	69	0.35	11	0.06	121	0.62	1	0.02	16	0.31	1	0.07	-	-	1	0.07
兵庫県	1	0.01	67	0.52	10	0.08	151	1.18	2	0.06	29	0.81	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	7	0.20	8	0.23	59	1.69	-	-	7	0.78	-	-	-	-	5	0.83
和歌山県	1	0.03	11	0.35	4	0.13	54	1.74	-	-	10	2.50	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	1	0.05	1	0.05	7	0.37	32	1.68	-	-	1	0.33	-	-	-	-	6	1.20
島根県	-	-	5	0.22	-	-	31	1.35	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	7	0.13	19	0.35	5	0.09	91	1.69	-	-	10	0.83	-	-	1	0.20	-	-
広島県	6	0.08	43	0.58	2	0.03	80	1.08	-	-	26	1.30	-	-	-	-	-	-
山口県	2	0.04	59	1.20	1	0.02	36	0.73	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	7	0.30	-	-	53	2.30	1	0.25	6	1.50	1	0.17	1	0.17	-	-
香川県	-	-	8	0.25	1	0.03	30	0.94	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	55	1.41	-	-	71	1.82	-	-	11	1.57	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	15	0.48	-	-	14	0.45	-	-	7	2.33	-	-	-	-	3	0.38
福岡県	66	0.55	154	1.28	9	0.08	142	1.18	1	0.04	37	1.42	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	89	3.87	1	0.04	26	1.13	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	37	0.84	2	0.05	68	1.55	12	1.50	11	1.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	91	1.86	4	0.08	25	0.51	1	0.11	15	1.67	-	-	2	0.13	4	0.27
大分県	1	0.03	35	0.97	2	0.06	85	2.36	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	134	3.62	1	0.03	177	4.78	-	-	12	3.00	-	-	1	0.14	4	0.57
鹿児島県	1	0.02	82	1.37	1	0.02	143	2.38	-	-	3	0.50	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	3	0.09	1	0.03	75	2.21	-	-	11	1.10	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年20週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	54	0.11	1	0.00	18	0.04
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	2	0.40
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	2	0.25	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	1	0.10
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	2	0.22	1	0.11	2	0.22
千葉県	1	0.08	-	-	2	0.15
東京都	-	-	-	-	5	0.20
神奈川県	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	5	0.42	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	2	0.20
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.07	-	-	1	0.07
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	4	0.19	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	2	0.18	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第20号 平成14年5月31日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。